

(送金ノトキノ例)

左記ノ金員縣金庫何出張所ヨリ送付セシメ候條現金領收ノ上ハ本紙へ年月日(職務上領收スル者ハ官職名)姓名ヲ自署シ請求署ニ押捺シタル印章ヲ捺印シ速ニ該出張所へ送付セラルヘシ

何所仕拂命令官官職 氏

名 圖

何之誰宛

(印紙貼用ヲ要スルトキノ例)

(送金拂ニ係ルモノハ「集合送第何號」トス)

<p>收入參錢 印紙貼用 ヲ要ス</p>		<p>明治何年度縣費歳出</p>	<p>金額 氏名 表 第何號</p>	<p>何々費 (目ヲ記入ス)</p>
<p>明治何年何月何日</p>		<p>集合直第何號</p>		
<p>仕拂命令 官認印</p>		<p>證</p>		<p>別紙仕譯書之通</p>
<p>付通知書交 主任印</p>		<p>右之金員領收候也</p>		

仕 拂 通 知 書

明治 年 月 日

備 考

- 一 輪廓内ハ堅五寸横三寸トシ用紙大ハ半紙半截形トス
- 二 直接拂ニ係ル仕拂通知書ヲ受取人ニ交付スルトキハ該仕譯書ニ「仕拂通知書領收」ノ印版ヲ押捺シ之ニ證印(請求書ト同)ヲ徴スヘシ
- 三 費目ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第三號

振替原符、同命令書及同報告書書式

<p>明治何年何月何日</p>	<p>第何號</p>	<p>仕拂命令官認印 命令書亦同シ</p>	<p>命令發行主任印 命令書亦同シ</p>
<p>明治何年度縣費歳出</p>			
<p>明治何年度雜收入收入</p>			

縣金庫何出張所

仕拂命
令官印

明治何年何月何日
第何號

① 金

明治何年度縣費何々費(款)支出

明治何年度雜收入收入

右金額腹書之通振替フヘシ

何所收入命令官官職 氏 名 印
何所仕拂命令官官職 氏 名 印
縣金庫何出張所宛

振替命令書

仕拂命
令官印

縣金
庫印

第何號

一金

金取主
庫振任印

明治何年度縣費何々費(款)支出

明治何年度雜收入收入

右金額腹書之通何月何日振替候也

明治何年何月何日

何所收入命令官官職氏名宛
何所仕拂命令官官職氏名宛

縣金庫何出張所

振替報書

備考

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

- 一 振替命令書及同報告書ハ輪廓内各堅五寸横三寸トス
- 二 振替報告書ノ用紙大ハ半紙半裁形トシ右方ニ綴込餘白一寸ヲ存スヘシ
- 三 振替命令書及同報告書ハ仕拂命令官制印ノ上共ニ縣金庫ヘ送付スヘシ

第四號 仕拂振替原符、同命令書、同通知書及同報告書書式

(送金ニ係ルモノハ「送第何號」トス以下同シ)

(送金拂ニ係ルモノハ此ノ區ヲ除ク)

	明治何年何月何日				
直第	何	號	何	之	誰
(仕拂命令官認印以下同シ)			命令發行主任印		
明治何年度縣費何々費(款)					
現金	支	給	高		
縣金庫何出張所					

仕 拂 振 替 原 符

仕拂命令官印

左記ノ金員縣金庫何出張所ニ於テ支拂フヘキニ付本紙ヘ年月日(職務上領收スル者ハ官職名)姓名ヲ自署シ請求書ニ押捺シタル印章捺印ノ上發行ノ日ヨリ十日以内ニ該出張所ヘ差出シ現金ヲ受領セラルヘシ

何之誰宛 何所仕拂命令官官職 氏 名 印

(印紙貼用ヲ要スルトキノ例)

	明治何年何月何日				
直第	何	號	何	之	誰
(送金ノトキノ例)					
左記ノ金員縣金庫何出張所ヨリ送付セシメ候條現金領收ノ上ハ本紙ヘ年月日(職務上領收スル者ハ官職名)姓名ヲ自署シ請求書ニ押捺シタル印章ヲ捺印シ速ニ該出張所ヘ送付セラルヘシ					
何所仕拂命令官官職 氏 名 印					
(印紙貼用ヲ要スルトキノ例)					
明治何年度縣費何々費(款)支出高					
現金支拂高					
雜收入ヘ振替高					
別紙仕譯書之通					

收入參用紙貼用ヲ要ス

仕 拂 振 替 通 知

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

金 内 金	通知書交付主任印
明治何年度縣費何々費(款)支出高	
現金支拂高	
雜收入ヘ振替高	

右之金員領收候也

明治 年 月 日

仕拂命
令官

明治何年何月何日

(送金拂ニ係ルモノハ住所ヲ肩書スヘシ)

何 之 誰 渡

① 一金

命令發行
主任印

明治何年度縣費何々費(款)

内 金

現金 一 仕 拂 高
明治何年度雜收入へ振替高

右金額内譯之通仕拂及振替フヘシ

何所收入命令官官職氏
何所仕拂命令官官職 氏 名 團

縣金庫何出張所宛

名 團

書 令 命 替 振 拂 仕

明治何年何月何日	(送金拂ニ係ルモノハ住所ヲ肩書スヘシ)
直第 何 號	何 之 誰 渡
① 一金	命令發行 主任印
明治何年度縣費何々費(款)	現金 一 仕 拂 高 明治何年度雜收入へ振替高
内 金	
右金額内譯之通仕拂及振替フヘシ	何所收入命令官官職氏 何所仕拂命令官官職 氏 名 團
縣金庫何出張所宛	名 團

仕拂命
令官印

縣金
庫印

直第 何 號

一金

縣金庫取
扱主任印

明治何年度縣費何々費(款)支出

明治何年度雜收入收入

右金額腹書之通何月何日振替候也

明治何年何月何日

縣金庫何出張所宛

何所收入命令官官職氏名宛

何所仕拂命令官官職氏名宛

書 告 報 替 振 拂 仕

直第 何 號	縣金庫取 扱主任印
一金	縣金庫取 扱主任印
明治何年度縣費何々費(款)支出	
明治何年度雜收入收入	
右金額腹書之通何月何日振替候也	
明治何年何月何日	縣金庫何出張所宛
何所收入命令官官職氏名宛	
何所仕拂命令官官職氏名宛	

備考

一 仕拂振替命令書同通知書及同報告書ハ各輪廓内堅五寸横三寸下ス

二 仕拂振替通知書及同報告書ノ用紙大ハ半紙半截形トシ仕拂振替報告書ニハ右方ヘ綴込餘白一寸ヲ存スヘシ

三 仕拂振替命令書及同報告書ハ仕拂命令官割印ノ上共ニ縣金庫ニ送付スヘシ

第四號ノ一甲

集合振替仕拂原符同命令書及同報告書書式

(送金ニ保ルモノハ「集合送第何號」トス以下同シ)

符原仕替振合集

大正何年何月何日	集合直第何號	何之誰外何人渡
現金支給高 大正何年度雜收入へ振替高		現金支給高 大正何年度雜收入へ振替高
縣金庫何出張所		縣金庫何出張所宛

仕拂命令官認印以下同シ

命令發行主任印

仕拂命令官印

書令命拂仕替振合集

大正何年何月何日	集合直第何號	何之誰外何人渡
現金支拂高 大正何年度雜收入へ振替高		現金支拂高 大正何年度雜收入へ振替高
右金額内譯之通仕拂及振替フヘシ 何所收入命令官 官職 氏 何所仕拂命令官 官職 氏		何所收入命令官 官職 氏 何所仕拂命令官 官職 氏
縣金庫何出張所宛		縣金庫何出張所宛

一金

命令發行主任印

仕拂命令官印

縣金庫印

集合直第何號

一金

縣金庫取
扱主任印

大正何年度縣費支出

大正何年度雜收入收入

右金額腹書之通何月何日振替候也

大正何年何月何日

縣金庫何出張所印

何所收入命令官職氏名宛

何所仕拂命令官職氏名宛

書告報拂仕替振合集

備考

- 一、集合振替仕拂命令書及同報告書ハ各輪廓内豎五寸横三寸トス
- 二、集合振替仕拂報告書ノ用紙大ハ半紙半截形トシ右方ヘ綴込餘白一寸ヲ存スヘシ
- 三、集合振替仕拂命令書及報告書ハ仕拂命令官印ノ上共ニ縣金庫ヘ送付スヘシ

第四號ノ一乙

集合振替仕拂命令附屬金額氏名表書式 直接拂ニ係ルモノハ「直第何號」トス

大正何年度縣費歳出 集合振替仕拂命令送第何號附屬金額氏名表

一金

内

債主何之誰外何人渡

金

現金支拂高

金

大正何年度雜收入へ振替高

現金支拂額

番

號

債

主

住

所

債

主

氏

名

一					
二					
三					
四					
五					

大正何年何月何日

何所仕拂命令官職氏

名 印

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出
第四號ノ一丙

集合振替仕拂命令ニ對スル仕拂通知書書式

左記ノ金員縣金庫何出張所ニ於テ支拂フヘキニ付本紙ヘ年月日(職務上領收スル者ハ官職名)姓名ヲ自署シ請求書ニ押捺シタル印章捺印ノ上發行ノ日ヨリ十日以内ニ該出張所ヘ差出シ現金ヲ受領セラルヘシ

(送金ノトキノ例) 左記ノ金員縣金庫何出張所ヨリ送付セシメ候條現金領收ノ上ハ本紙ヘ年月日(職務上領收スル者ハ官職名)姓名ヲ自署シ請求書ニ押捺シタル印章ヲ捺印シ速ニ該出張所ヘ送付セラルヘシ

何之誰宛

送金拂ニ係ルモノハ「送第何號」トス

印紙貼用スルトキノ例	収入紙貼用ス
大正何年度縣費歳出	大正何年何月何日
金額氏名表第何號	集合直第何號
證	一金
現金支拂高	雜收入ヘ振替高
通知書交付主任印	別紙仕譯書之通

右之金員領收候也

大正 年 月 日

備考

一、用紙大ハ半紙半截形トシ輪廓内堅五寸横三寸トス

第五號

戻入金原符、同告知書、同領收證書及同戻入報告書書式、

返納金原符	明治何年何月何日	第何號	何之誰納
① (仕拂命令官認印) 告知書亦同シ	① 明治何年度縣費何々費(款)		
縣金庫何出張所	① (命令發行主任印) 告知書亦同シ		

仕拂命令官印

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

返納金告知書

返納金

明治何年何月何日	何	之	誰	納
第一何號				
一金				
明治何年度縣費何々費(款)				
右金額此ノ返納告知書發行ノ日ヨリ何日以内ニ返納セラルヘシ				
縣金庫何出張所				
何所仕拂命令官職氏名				

仕拂命令官印	縣金庫印
第一何號	何之誰納
一金	
(縣金庫取扱主任印報告書亦同シ)	

領收證書

返納金入報告知書

明治何年度縣費何々費(款)	縣金庫何出張所
右領收候也	
明治何年何月何日	

仕拂命令官印	縣金庫印
第一何號	何之誰納
一金	
明治何年度縣費何々費(款)	
右領收定額ニ戻入候也	
明治何年何月何日	
何所仕拂命令官職氏名宛	縣金庫何出張所

備考

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

- 一 返納金告知書、同領收證書及同戻入報告書ハ輪廓内各堅五寸横三寸トス
- 二 返納金戻入報告書ノ用紙大ハ半紙半載形トシ右方ニ綴込餘白一寸ヲ存スヘシ
- 三 返納金告知書、同領收書及同戻入報告書ハ仕拂命令官割印ノ上共ニ本人へ送付スヘシ

●三重縣歲出決算書書式

(明治四十一年六月十九日)
訓令甲第三十六號

郡役所
警察署
縣立學校
水産試驗場

三重縣歲出決算書書式左ノ通定ム

明治三十二年三重縣訓令甲第三號ハ之ヲ廢止ス
部 課 名 (各所ニ在テハ委任ヲ受ケタル仕拂命令官氏名)
明治何年歲出何々費決算書 (用紙美濃紙)
經常(臨時)部
第何款 何々費
本年度決算額ヲ以テ本年度豫算額ニ比シ金何圓ヲ減少(増加)ス其ノ理由ハ何々ノ事由ニ依ル(増減ノ事由ヲ大體ニ就キ明瞭ニ説明スヘシ)

科	第何項 何々費	目		本年度 豫算高	本年度 決算高	比 較		備 考
		第一目 何々費	第二目 何々費			増	減	
	第一目 何々費	何(目ノ内譯)	〇	〇	〇	〇		
	第二目 何々費	何(目ノ内譯)	〇	〇	〇	〇		
	第二項 何々費		〇	〇	〇	〇		
	第何項 何々費		〇	〇	〇	〇		目ニ於テ豫算ノ殘餘又ハ不足ヲ生シタル事由ヲ詳記スヘシ
	第何項 何々費		〇	〇	〇	〇		何々

備考

本年度豫算高ノ欄へハ原豫算高ヲ記載シ又原豫算高ニ對シ増減アリタルトキハ差引記載スヘシ但シ流用ノ爲増減シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
豫備費ヨリ充用セシ金額ハ備考欄へ普通殘餘又ハ不足ヲ生シタル事由ノ外尙其ノ金額事由ヲ記入スヘシ
目ノ内譯ハ科目表備考欄ノ科目ニヨリ區分記載スヘシ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

●縣歲出ニ屬スル流用支出ノ件

(大正二年五月六日)
訓令甲第十一號

郡役所 警察署
縣立學校 縣立病院
水産試験場 四日市築港事務所

明治三十二年十月三重縣訓令甲第八十九號左ノ通改正ス
縣歲出豫算仕拂命令委任ノ際指定シタル金額ノ殘餘ヲ他ノ科目ニ流用支出セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ縣立學校費郡役所費水産試験場費ニ屬スル練習費備品費消耗品費印刷費通信運搬費及賄費ニ限り豫算ニ過不足ヲ生シタルトキハ各解衛長ニ於テ彼是流用ヲ爲シ其ノ金額理由ヲ即時報告スヘシ

●三重縣支出證明規程

(明治三十四年四月五日)
訓令甲第二十九號

附則 明治三十六年二月訓令甲第二一號、大正一二年一

○月同第三一號改正

郡役所
警察署
縣立學校

明治三十三年(三月)三重縣訓令甲第十六號三重縣支出證明規程左ノ通改正シ明治三十四年度所屬ノ分ヨリ之ヲ施行ス

三重縣支出證明規程

第一條 縣會計規則ニ據リ委任ヲ受ケタル仕拂命令官又ハ出納吏ヨリ證明ノ爲メ提出スヘキ支出計算書仕拂計算書及證明書類ハ此ノ規程ニ據リ調理スヘシ
第二條 證明書類トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書及其ノ他事實ヲ證スル必要ノ書類トス
出張其ノ他臨時ノ場合ニ於テ吏員ノ權替ヘタル支出金ノ證明書類ニハ正當債主ノ領收證書ヲ添付スヘシ
領收證書ヲ得難キ正當ノ事由アルモノハ其ノ事由ヲ詳記シタル證明書類ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
第三條 支出計算書ニハ縣金庫出張所ヨリ差出シタル仕拂金

計算表ヲ添付スヘシ

第四條 證明書ハ當該所長又ハ監督ノ任アル者其ノ事實ヲ認メ之レニ認印スヘシ

土木營繕ノ工事ニ關シテハ出來形ニ對シ當該主任ノ検査シタル書類ヲ添付スヘシ但シ直營工事ニ係ル材料物件ノ購入其ノ他單ニ使役人夫ノ備料ニ止マルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

第五條 領收證書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 但シ別ニ仕譯書トシテ添付スルコトヲ得
- 一 仕拂命令ノ番號
- 二 俸給其ノ他給與ニ屬スル支出ニシテ任免黜陟缺勤其ノ他殘務調理等ノ爲メ給與ニ異動ヲ生シ又ハ支給ヲ停メ若ハ日割計算ヲシタルモノハ其ノ事由及年月日
- 三文官、學校職員、待遇職員、縣吏員、職員ノ俸給ニハ國庫又ハ縣ヘ納付スヘキ金額及現金支給高巡查俸給ニハ懲罰金額
- 四 諸手當其ノ他死亡賜金賞與惠與療治料等ハ給與スヘキ事

由及支出スヘキ事實ノ生セシ年月日

- 五 恩給給助等ハ其ノ算出ノ基礎並ニ遺族ノ受領ニ係ルモノハ權利ノ起因及繼續支給ニ係ルモノハ其ノ支出ニ該當スル期間及年額
- 六 旅費ハ其ノ用途及單位ノ給額旅行ノ日數宿泊數里數年月日發着地名但シ概算渡ニ係ルモノハ其ノ用途及見積計算ノ基礎ヲ記載シ其ノ他ヲ省略スルコトヲ得
- 七 迂路ヲ經テ旅行セシモノ若ハ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ公務外ニ日數ヲ要シタルトキ若ハ支給上他ノ旅行ニ牽連スルモノハ其ノ事由
- 七 物件ノ購入又ハ修繕ニ關スルモノハ其ノ種類數量價格所要ノ目的並ニ物品ノ購入ニ係ルモノハ物品出納ノ帳簿ニ登記シタル年月日ヲ附記スヘシ但シ前金拂ニ係ルモノ又ハ出張先ニ於テ購入直ニ消費スルモノ等ハ此ノ限ニアラス
- 椅子卓子又ハ日用ノ薪炭油類等用途ノ明カナルモノハ所要ノ目的ヲ省略スルコトヲ得

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

八物件ノ借入ニ關スルモノハ其ノ借入期間借料並ニ使用ノ目的但シ借料ニ關シ特殊ノ契約ヲナシタルモノハ其ノ要領

九郵便電信料ノ雜費拂ニ係ルモノハ其ノ發着場所通信事項字數若ハ量目及年月日

十運搬費等ハ其ノ運搬シタル品目數量發着場所及年月日

十一前各號以外ノ支出ニ對シテハ數量種類又ハ期間其ノ他

支出ノ當否ヲ認ムルニ必要ナル事項

十二審理書ニ基キ支出シタル金額ハ其ノ審理書番號及事由

並該金額算出ノ要領

第六條 左ノ事項ニ對シテハ履歷書若ハ認可書ヲ領收證書ニ添附スヘシ

一 退官賜金退職給與金ニ對シテハ其ノ履歷書

二 旅費ノ實費拂ニ對シテハ其ノ實費ノ領收證書及當該上官ノ認可書

第七條 法定代理人ニアラサル代理者ニ於テ領收シタルモノハ其ノ領收證書ニ權利者ノ委任狀又ハ委任届ヲ添附スヘシ

第八條 戻入金及振替金アルトキハ事實ヲ詳悉セル仕譯書ニ縣金庫出張所ノ報告書ヲ添附スヘシ但シ仕拂命令ヲ發シタル後之ヲ取消シタル場合ニ於テハ事由ヲ詳記シタル仕譯書ヲ添附スヘシ

第九條 證憑書ハ一款毎ニ編冊シ各冊中ニ於テ之ヲ各自ニ分チ其ノ金額ヲ表記スヘシ

現金前渡、概算拂、概算拂ノ精算若ハ戻入ニ對スル證憑書ハ各目中ニ於テ區分編纂シ其ノ金額ヲ表記スヘシ

第十條 領收證書中未到達ニ屬スルモノ及出納吏ノ現金仕拂ニ係ル證憑書モ前條ニ準シ整理スヘシ

第十一條 領收證書ニ押捺スル印章ハ其ノ職務上ニ屬スルモノハ官印又ハ職印其ノ他ハ實印檢印ヲ用ウヘシ但シ印章ヲ所持セサルモノニ限り花押又ハ拇印ヲ以テ代用セシムルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ氏名ノ傍ニ其ノ事由ヲ自書セシムヘシ

第十二條 鉛筆其ノ他文字ノ消散シ易キ液汁等ヲ以テ記載シタル證憑書ハ之ヲ受理セサルモノトス

第十三條 證書ノ字體及印影ハ明瞭ナルヲ要ス其ノ金額ハ一

二、三、十、廿、卅等ノ數字ヲ用ウルコトヲ得ス若シ誤記

脫字等アリテ訂正ヲ要スルトキハ其ノ全項ヲ朱抹シ傍ニ正

字ヲ明記シ受取人其ノ氏名ノ下ニ押捺シタルモノト同一ノ

印章ヲ以テ之レニ認印スヘシ

第十四條 外國文字ヲ以テ記載シタル證憑書ハ其ノ譯文ヲ添附

スヘシ

第十五條 證憑書ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添附シ又臨時

特殊ニ係ル事項ハ命令書又ハ認許書若ハ決議書等ヲ添附ス

ヘシ

第十六條 證書ノ紙數二葉以上ニ涉ルモノハ其ノ接續ノ部ニ

契印スヘシ

計算書及證憑書類書式

Table with multiple columns and rows, mostly blank or faint text, representing forms for accounting and certificates.

概算渡内譯表

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

科 目	前月越高	本月渡高	本月精算高	未精算高
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何々(款)				
何々(項)				
何々(目)	0	2000	0	2000
何々(目)	0	1400	0	1400
何々(目)	0	5000	0	5000
何々(項)計	0	8400	0	8400

領收證書未到達内譯表

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

科 目	前月越高	本月未到達高	本月到達高	未到達高
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何々(款)				
何々(項)				
何々(目)	0	1000	0	1000
何々(目)	0	1000	0	1000
何々(目)	0	1000	0	1000
何々(項)計	0	3000	0	3000

1.

科 目	豫算額	本月増減	豫算額	支拂命	
				前月	迄計
	圓錢厘		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何々々 (款)					
何々々 (項)					
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (項)計	400000	0		200000	
何々々 (項)					
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (節)	50000	0		25000	
何々々 (節)	50000	0		25000	
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (目)	100000	0		50000	
何々々 (項)計	400000	0		200000	
合 計	800000	0		400000	

明治何年	何年	何年	何年	何月	支
明治	年	月	日		知
(年度完結ノ例)	明治何年	何年	何年	何月	支出計算書

備考
一 一 目ヲ中記別ニ費途ヲ指シテ委任セテ控考スヘシ
二 豫算ノ増減流用及ヘシ

令 濟 額	本月命額	本月更	戻入科目正額	豫算残額		備 考
				圓錢厘	圓錢厘	
本月令	圓錢厘		圓錢厘	圓錢厘		
	10000		0		40000	
	10000		0		40000	
	10000		0		40000	
	10000		0		40000	
	40000		0		160000	
	10000		0		40000	
	10000		0		40000	
	4500		0		20500	
	5500		0		19500	
	10000		0		40000	
	10000		0		40000	
	40000		0		160000	
	80000		0		320000	

出計算書面之通相違無之候也

仕 拂 命 令 官 團

事 宛

面之通相違無之依テ何年度計算完結候

ラレタルモノアルトキハ目ノ次ニ其ノ内
 除スヘシ 欄ニ其ノ事由ヲ記載シ其ノ減額ニ係ルモ

明治何年度

何年何月

經常部(臨時部)

何々費

支出計算書

何々所(署或ハ校)

用紙ハインキ應用美濃紙縦一尺横一尺五寸六分二ツ折(但綴代共)左方ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ

(用紙美濃紙袋綴トス)

明治何年度經常部(臨時部)何々費(款)
何年何月前渡金仕拂計算書

何所(署) 出納吏 氏名
官職

科目	前月ヨリ	本月	計	本月	本月	備
	越	受領		仕拂	還納	
何々(款)						考
何々(項)						
何々(目)						
何々(目)						
何々(目)						

備考

一 過誤ノ仕拂ニヨリ現金ノ戻入ヲ受ケタルトキハ本月受領高ニ加算掲記シ其ノ金額事由ヲ備考ニ記載スヘシ
 一 末文ハ支出計算書ニ準スヘシ

明治何年度經常部(臨時部)何々費(款)
 何年何月支出(仕拂)證憑書

一金
 外 (支出又ハ仕拂總金額ヲ掲ク)
 金 (朱記スルヲ要ス) 戻入高
 何 所 (署)
 又ハ何所出納吏
 官 職 氏 名

一金	内譯	(支出總額ヲ掲ク)
金	精算拂	
内	同領收證書未到達ノ分	
金	概算拂	
金	追給拂	
外	戻入高 (精算拂ノ分)	
一金	概算拂精算高	
内	戻入高 (概算拂ノ分)	
金		
備考		

一 概算拂及概算拂ノ精算ニ對スル證憑書ハ白紙ヲ挿入シテ之カ區分ヲナシ其ノ合計金額ヲ掲記スヘシ

二 概算拂ニ對スル追給ノ領收證書ハ概算拂精算ノ部ニ編入スヘシ此ノ場合ニアリテハ其ノ追給高ヲ外書トナスヘシ

●縣廳ニ送付スル金錢ノ仕拂請求書又ハ之ニ代ハルヘキ書類ニハ當該所長認印スヘキ件

(明治三十五年三月十八日訓令甲第二十二號)

- 三 概算拂追給拂ノ領收證書未到達アルトキハ精算拂ノ領收證書未到達ノ例ニ依リ記載スヘシ
- 四 各目及概算拂現金前渡ノ證憑書等白紙ヲ挿入シテ區分ヲナシタル個所ハ之カ察耳ヲ貼付スヘシ
- 五 出納吏ノ仕拂金ニ對スル證憑書モ此ノ書式ニ準ス

●市町村ニ對シ荷車檢印ニ要スル消耗品代料交付ノ件

(大正十三年五月二十三日訓令甲第九號)

市町村ニ對シ毎年七月末日迄ニ左ノ區分ニ依リ荷車檢印ニ要スル消耗品代料ヲ交付ス

市及其ノ年四月一日現在荷車二千輛以上ノ町村 年額金貳拾圓

其ノ年四月一日現在荷車二千輛未滿千輛以上ノ町村 同 金拾圓

同 千輛未滿五百輛以上ノ町村

當廳ニ送付スル金錢ノ仕拂請求書又ハ之ニ代ハルヘキ書類ハ當該所長其ノ事實ヲ調査シ之ニ認印スヘシ

同

五百輛未満百輛以上ノ町村

同

同 金五圓

同

百輛未満ノ町村 同 金參圓

娼妓貸座敷賦金徵收手数料交付

規程

(大正十四年四月十四日) (訓令甲第八號)

第一條 市ニ於テ徵收シタル娼妓貸座敷賦金徵收金額ニ對シ徵收手数料ヲ交付ス

第二條 徵收手数料ハ娼妓貸座敷賦金徵收金額ノ百分ノ四トス

第三條 徵收手数料ハ毎年四月ヨリ九月迄ノ分ヲ十月二十日ヨリ翌年三月迄ノ分ヲ四月ニ交付ス

第四條 市長ハ徵收手数料ノ請求書ヲ作り交付期月十五日迄ニ知事ニ差出スヘシ

附則

本規程ハ大正十四年度分ヨリ施行ス

地方財政ノ整理緊縮ニ關スル件

(大正十三年八月二十六日) (訓令甲第二十號)

郡 役 所

市 役 所

町 村 役 場

地方財政ノ整理緊縮ニ關シ左記甲號ノ通内務、大藏兩大臣ヨリ訓令アリ同時ニ左記乙號ノ通内務、大藏兩大臣ヨリ通牒アリタリ之カ趣旨ノ徹底ヲ期スルト共ニ各具體的事項ニ付テハ特ニ慎重ナル考究ヲ遂ケ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

右訓令ス

甲號

内務省訓第七一四號

三重縣知事

地方財政ノ整理緊縮ニ關シテハ曩ニ會同ノ際訓示ノ次第モ有

之政府意圖ノ存スル所ハ各位ノ既ニ諒得セラレル所ナルヘキ

モ今日ノ時局ハ中央地方共ニ一大英斷ヲ以テ財政ノ整理ヲ敢行スルニアラサレハ局面ノ打開ハ到底之ヲ期シ得ヘキニアラス依テ左記整理要綱ニ依遵シテ専ラ之カ實行ヲ期スルハ勿論管下市町村等ニ對シテモ亦此ノ方針ノ下ニ整理緊縮ヲ圖ラシムヘシ

右訓令ス

大正十三年八月二十日

内務大臣 若槻禮次郎

大藏大臣 濱口雄幸

記

第一 大正十四年度當初豫算ハ道府縣市町村等ヲ通シ緊切避クヘカラサル事情ナキ限り左記諸號ニ據リ大正十三年度當初豫算額ヲ基準トシ極力整理緊縮ヲ加ヘテ之カ編成ヲ爲スコト

一、各費目ニ互リ整理節約ヲ行ヒ極力其ノ減額ヲ期スルコト

二、新規ノ施設ハ之ヲ計畫セサルコト

三、既定ノ計畫ニ係ルモノニ在リテモ(繼續費タルト否トナ間ハス)之カ打切、中止、減額又ハ繰延等ヲ實行スルコト

四、新規ノ起債ハ之ヲ見合スヘキハ勿論既ニ許可ヲ經タルモノニ在リテモ前號ノ趣旨ニ準シ措置スルコト

五、課税ニ付テハ大正十三年度ノ程度以下ニ止メ之カ新設又ハ増徴ヲ避クルコト

第二 豫算ノ追加ハ大正十三年度及同十四年度共差措キ難ヤ事情ノ生セサル限り之ヲ避ク(財源ノ存スル場合ト雖)以テ整理緊縮ノ趣旨ヲ徹底シ追加ノ已ムヲ得サル場合ニ於テモ前項ノ趣旨ニ準シ措置スルコト

第三 大正十三年度既定豫算ノ實行ニ關シテモ第一項ノ趣旨ニ準シ措置スルコト

第四 整理ノ結果歳入ニ餘裕ヲ生スル場合ニ於テハ起債額ノ減少ヲ圖リ尙剩餘アルトキハ舊債ノ償還ヲ爲シ又ハ戸數割家屋税及其ノ附加税ノ輕減ヲ圖リ若ハ改廢ヲ要スヘキ稅種

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第六款 支出

整理ノ資ニ充ツレコト

乙號

内務省發地第四九號

大正十三年八月二十日

内務 次官
大藏 次官

三重縣知事殿

地方財政ノ整理緊肅ニ關スル件依命通牒

今回閣議ノ決定ヲ經テ内務大藏兩大臣ヨリ標記ノ件ニ關シ訓令相成候ニ就テハ能ク其ノ趣旨ノ存スル所ヲ體シ左記各號ノ如キ深ク之ニ留意シ以テ整理緊肅ノ實效ヲ舉クルニ最善ノ努力ヲ竭サレ度

記

一、徒ニ事業ノ地方的分配又ハ事業相互ノ權衡等ヲ顧慮シ其ノ他各種ノ情實ニ基キテ事業ヲ企劃スルカ如キコトアルヘカラサルハ勿論從來ノ施設ニ付テモ深ク其ノ實情ニ付調査考察ヲ送ケ荷モ適正ナラスト認ムルモノニ付テハ整

理ヲ斷行スルコト

- 二、事業ノ成立ヲ容易ナラシムカ爲ニ長期ニ互ル繼續費ヲ設定スルカ如キコトナク且既定ノ繼續費ニ付テモ此ノ趣旨ニ準シ可成之ヲ整理スルコト
- 三、工事ノ實際ニ吻合セサル費額ヲ豫算ニ計上シ繰越ヲ生ムルカ如キハ努メテ之ヲ避クルコト
- 四、緊急差措キ難キモノニアラスシテ單ニ利便ヲ増スニ止マルカ如キ施設ハ建築土木其ノ他ノ事業ヲ通シ可成打切又ハ繰延等ヲ行ヒ且新ニ之ヲ計劃セサルコト
- 五、廳舎學校等ノ改築増築ノ如キモ堪ヘ得ル限り之ヲ見合セ其ノ建設ノ已ムヲ得サルモノニ在リテモ地方ノ實情ニ應ジ建物設備等專ラ實用ノ程度ヲ超エサルコト
- 六、補助費獎勵費等ハ嚴密ナル審査ヲ遂ケ必要ニ應ジテ改廢ヲ斷行シ且努メテ之ヲ新設ヲ爲ササルコト
- 七、國家ト府縣トノ連帶支辨ニ關スル警察費及機密費ハ特ニ其ノ支途ヲ精査シ節約ヲ圖ルコト
- 八、工事ノ竣成其ノ他諸般ノ機會ニ於テ溢ニ要應接待ヲ爲シ

又ハ紀念品ノ類ヲ配布スル等會合儀式ニ伴フ冗費ノ支出ヲ禁スルコト

- 九、各種ノ運動、視察又ハ諸會合等ノ爲上京ヲ爲シ又ハ各地ニ出張シ徒ニ旅費等ヲ支出スルカ如キハ之ヲ避クルコト
- 十、溢ニ各種ノ調査委員又ハ囑託等ヲ設置ノ調査費等ノ經費ヲ支出セサルコト
- 十一、地方費ノ節減ニ際シ之カ費額ヲ寄附金ノ名義ニ改メ協議費ト爲シ又ハ各種團體ノ豫算ニ移シ以テ負擔輕減ヲ圖ルノ主旨ヲ没却スルカ如キ事ナキコト
- 十二、國費ニ於テ整理セラレタルモノヲ地方費ニ移シ以テ整理ノ實ヲ失ハシムルカ如キハ努メテ之ヲ避クルコト

第七款 出納吏

● 縣出納吏ノ件

(明治三十四年三月二十九日
訓令甲第二十三號)

郡 役 所
警 察 署
縣 立 學 校

明治三十三年(二月)三重縣訓令甲第十四號縣出納吏ノ件左ノ
通改正シ明治三十四年度所屬ノ分ヨリ之ヲ施行ス
一 現金ノ出納ヲ掌ル出納吏ハ郡役所ニ在リテハ會計事務ヲ取
扱フ課ノ首席郡書記警察署ニ在リテハ署長縣立學校ニ在リ
テハ校長ヲ以テ之ニ充ツ

● 出納吏及出納事務取扱者ハ縣金

庫出張所へ印鑑送付ノ件

(明治三十三年四月二十日
訓令甲第四十三號)

郡 役 所
警 察 署
監 獄 支 署
縣 立 學 校

出納吏及出納事務取扱者ハ對照ノ爲其ノ印鑑ヲ縣金庫出張所
ニ送付スヘシ

● 縣出納吏異動報告ノ件

(明治三十五年六月二十日
訓令甲第四十五號)

郡 役 所

縣出納吏ノ異動ハ自今左ノ書式ニ據リ其ノ時々報告スヘシ

縣出納吏異動報告書

在職廳名	前任者		後任者		備考
	官氏名	解職年月日	官氏名	任職年月日	

右報告候也

年 月 日

知事 宛

郡長

第八款 保管

●三重縣保管金出納規程

(明治三十四年八月二十日) 訓令甲第五十六號

〔附註〕 明治三十五年六月訓令甲第四九號、同年一月同第七八號、三十八年四月同第二一號、三十九年九月甲第三八號、四〇年一月同第五〇號改正

- 郡市役所 警察署
- 同 分 署 縣立學校
- 縣 役 院 農事試驗場
- 水産試驗場 農事講習所
- 〔明野勸農場〕 縣 金 庫

三重縣保管金出納規程左ノ通相定メ來ル九月一日ヨリ施行ス
但シ明治三十一年(七月)三重縣訓令甲第六十二號三重縣保管金取扱規程ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第八款 保管

三重縣保管金出納規程

- 第一條 縣ノ保管ニ屬スル現金ノ出納ハ別ニ規程ヲ設ケルモノノ外總テ此ノ規程ニ據ル
- 第二條 保管金ヲ出納スルトキハ出納命令官ハ縣金庫ニ對シ出納命令ヲ發スヘシ但シ假保管金ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條ノ二 囑託ニ依リ徵收スヘキ租稅其ノ他公課ノ受入ニ關シテハ收入命令官ノ命令ヲ以テ前條ノ命令ト看做ス
- 第三條ノ一 取扱主任假保管金ニ係ル保管證書ノ納付ヲ受ケタルトキハ左ノ區分ニ依リ之ヲ取扱フヘシ
 - 一 即日還付ヲ要スルモノハ保管證書ニ其ノ旨裏書シテ之ヲ納付人ニ交付スヘシ
 - 二 即日還付ノ場合ニアラサルモノ及縣ノ歲入ニ屬シタルモノハ保管證書ヲ添ヘ其ノ旨出納命令官又ハ收入命令官ニ通知スヘシ
- 出納命令官又ハ收入命令官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ保管證書ニ保管金ニ振替若ハ歲入ニ編入ヲ要スル旨ヲ裏書シテ之ヲ縣金庫ヘ送付スヘシ

第六編 財務 第一章 縣、財務 第八款 保管

第三條ノ二 出納命令官保管金ヲ歳入ニ編入セントスルトキ

ハ其ノ旨收入命令官ニ通知スヘシ

第四條 保管金ノ出納命令官ハ歳入歳出ノ收支命令官ヲ以テ之ニ充ツ其ノ收支命令官ヲ置カサル麻衝ニ在リテハ其ノ所長ヲ以テ之ニ充ツ

保管金ノ出納吏ハ歳入歳出ノ出納吏ヲ以テ之ニ充ツ其ノ出納吏ヲ置カサル麻衝ニ在リテハ有價證券及物品ノ出納吏ヲ以テ之ニ充ツ

第五條 保管金出納ノ手續ハ本令ニ定ルモノノ外ハ三重縣會計規則中歳入歳出ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 保管金出納命令官及出納吏ニハ本令ニ定ムルモノノ外ハ三重縣會計規則中歳入歳出收支命令官及出納吏ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條 保管金ノ出納命令振替命令現金出納簿其ノ他ノ書式ハ本令ニ定ムルモノノ外ハ歳入歳出出納ニ關スル書式ヲ準用ス

第八條 出納命令官ハ保管金出納計算簿ヲ設備シ其ノ出納ヲ

登記スヘシ

出納吏ハ現金出納簿ヲ設備シ其ノ出納ヲ登記スヘシ但シ歳入歳出ヲ取扱フ出納吏ハ其ノ出納簿ヲ充用スヘシ

第九條 各麻衝ノ出納命令官ハ毎月保管金受拂報告書ヲ調製シ受入ニ對シテハ人別仕譯書拂出ニ對シテハ領收證書及歳入ニ振替濟通知書ヲ添付シ翌月三日以内ニ之ヲ縣廳ニ送付スヘシ

第十條 保管金出納計算簿保管金受拂報告書ハ左ノ書式ニ依ル

(書式)

明治何年何月保管金受拂報告表

摘要	前月	越高	受	拂	残
土木工事受負保證金	〇		一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇
何々	一〇〇〇〇		五〇〇〇〇	〇	六〇〇〇〇
計	一〇〇〇〇		一五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇

右報告候也

年 月 日
知 事 宛

何 處
出納命令官官職 氏

名 印

要		受	拂	残
種別	拂渡月日	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
土木受買保證	九月七日	20000		20000
夕	七月三十日	50000		70000
物品購入保證		10000		
夕	八月二十五日	30000		110000
土木受買保證			50000	60000
		110000	50000	
土木受買保證		200000		260000
物品購入保證			30000	230000
		200000	30000	
			20000	210000

保管金出納計算簿

何	所	(署)
---	---	-----

年月日	摘
明治三十四年	
七 五	何々金庫出張所へ受入 何某納
二〇	ク 何某納
二六	ク 何某納
三〇	拂 戻 何某渡 七 月 計
八 五	出納吏へ受入何月何日 何々金庫出張所へ拂込 何某納
二五	拂 戻 何某渡 八 月 計
九 七	拂 戻 何某渡

(備考)
 一 本簿ハ毎年之ヲ繼續シテ使用シ年度ヲ區分セズ
 二 新帳ノ調製又ハ紙數ノ終了等ニヨリ帳簿ノ記載ヲ爲ストキハ現存セル金高ニ對シ更ニ各人別ニ記載スヘシ
 三 出納吏ヨリ金庫へ拂込ミタル月日ヲ摘要欄内ニ記載スルハ送納書ノ別符ニ依ルモノトス

● 縣ニ於テ保管スヘキ有價證券ノ保管證書書式

(明治三十四年十月二十五日訓令甲第六十二號)

郡 役 所 警 察 署
 同 分 署 縣 立 學 校

驅 徽 院 測 候 所
 農 事 試 驗 場 水 産 試 驗 場
 農 事 講 習 所 明 野 勸 農 場

【明治三十三年(八月)三重縣訓令甲第七十八號】ニ依リ縣ニ於テ保管スヘキ有價證券ノ納付ヲ受ケタルトキハ出納吏ハ左ノ書式ニ據リ保管證書ヲ交付スヘシ

第 號	第 號
年 月 日	年 月 日
一何公債證書(又ハ何々)額面何圓也	取扱主任
内 譯	
何圓券	何第何番
何圓券	何第何番
但(保管ノ事由ヲ摘録スヘシ)	
何 枚	何 枚
何 枚	何 枚
出 納 吏 員	

保管證書

一何公債證書(又ハ何々)額面何圓也

取扱主任

内譯

何圓券

何第何番

何枚

何圓券

何第何番

何枚

但(保管ノ事由ヲ摘録スヘシ)

右保管候也

年月日

麻街印

出納吏官職 何

某

何某宛

第九款 縣金庫

●縣金庫規則

(明治二十八年五月十日) 縣令第二十六號

明治二十九年三月縣令第一三號、三十二年三月同第

二〇號、三十九年九月同第四八號、四〇年三月同第一

五號、同年一月同第四八號、四一年四月同第三六

號、同年九月同第九二號、四二年三月同第一二號、

四三年五月同第四四號、四四年五月同第三〇號、同

年六月同第三九號、大正三年三月同第九號、一〇年

三月同第一五號、同第三〇號、一一年三月同第二五

號、同年七月同第四八號、同年一二月同第七〇號、

一二年三月同第九號、同年五月同第一五號、一三年

七月同第二六號、一四年三月同第一七號改正

縣金庫規則左ノ通相定ム

但明治二十五年(三月)三重縣令第十三號縣金庫出納規程ハ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

廢止ス

縣金庫規則

第一條 縣金庫ハ縣經濟ニ屬スル現金並ニ縣ニ於テ保管スル現金ノ保管出納及其眞實鑑定ヲ取扱フ所トス

第二條 縣金庫ヲ分チ左ノ二種トス

第一 金庫

第二 金庫出張所

第三條 縣金庫ニ於テ出納ヲ取扱フヘキ區域ハ別表ノ定ムル所ニ據ル

第四條 金庫ハ金庫出張所ヲ總轄ス

第五條 縣金庫ニ於テ仕拂フヘキ現金ハ特ニ指定スルモノノ外其金庫現在ノ通貨ヲ以テ仕拂フヘシ

第六條 縣金庫ハ照合ニ供スル爲メ收支命令官ヘ其ノ印鑑及事務取扱主任者ノ印鑑ヲ差出スヘシ

第七條 收支命令官ハ照合ニ供セシムル爲メ其印鑑ヲ縣金庫ヘ交付スヘシ

第八條 縣金庫ノ開庫時間ハ左ノ如シ但シ至急ヲ要スル仕拂

二百二十九

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

又ハ納期ノ請收入金ヲ領收スルトキハ此ノ限ニ在ラス

四月一日ヨリ七月二十日迄 午前八時ヨリ 午後三時ニ至ル
 七月二十一日ヨリ八月三十一日迄 午前八時ヨリ 午後二時ニ至ル
 九月一日ヨリ十月三十一日迄 午前八時ヨリ 午後三時ニ至ル
 十一月一日ヨリ三月三十一日迄 午前九時ヨリ 午後三時ニ至ル

土曜日ハ總テ午十二時限リ閉鎖ス
 第九條 縣廳ハ隨時検査員ヲ派出シ縣金庫ノ現金及諸帳簿ヲ 検査スヘシ
 第十條 縣金庫ニ於テ取扱フ現金ハ本業部ト混同セサルタメ 常ニ之ヲ區分シ置クヘシ

縣金庫位置及出納區域

縣	金庫	位置	縣	金庫	出	張	所	名	位	置	區	城	
一	富	富	三	重	縣	廳	內	河	藝	郡	一	身	田
二	津	津	三	重	郡	富	田	三	重	郡	富	田	村
三	四	日	三	重	郡	菰	野	三	重	郡	菰	野	村
四	桑	桑	四	日	市	市	市	四	日	市	市	市	市
五	大	泉	員	辨	郡	大	泉	原	村	員	辨	郡	大

第五編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

津	市	波	和	濱	木	尾	名	上	鳥	宇	相	松	久	新	神	白	龜	海
藏	三	志	志	志	南	北	張	野	羽	田	可	坂	居	町	戶	子	山	藏
重	鹿	摩	摩	半	半	賀	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	郡	郡	婁	婁	郡	郡	山	摩	治	氣	南	志	濃	藝	藝	鹿	重
重	鹿	和	濱	木	本	名	賀	上	鳥	山	相	松	久	新	神	白	龜	重
重	鹿	具	島	本	本	張	賀	野	羽	田	可	坂	居	町	戶	子	山	重
重	鹿	志	志	南	北	張	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	摩	摩	半	半	賀	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	郡	郡	婁	婁	郡	郡	山	摩	治	氣	南	志	濃	藝	藝	鹿	重
重	鹿	和	濱	木	本	名	賀	上	鳥	山	相	松	久	新	神	白	龜	重
重	鹿	具	島	本	本	張	賀	野	羽	田	可	坂	居	町	戶	子	山	重
重	鹿	志	志	南	北	張	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	摩	摩	半	半	賀	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	郡	郡	婁	婁	郡	郡	山	摩	治	氣	南	志	濃	藝	藝	鹿	重
重	鹿	和	濱	木	本	名	賀	上	鳥	山	相	松	久	新	神	白	龜	重
重	鹿	具	島	本	本	張	賀	野	羽	田	可	坂	居	町	戶	子	山	重
重	鹿	志	志	南	北	張	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	摩	摩	半	半	賀	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	郡	郡	婁	婁	郡	郡	山	摩	治	氣	南	志	濃	藝	藝	鹿	重
重	鹿	和	濱	木	本	名	賀	上	鳥	山	相	松	久	新	神	白	龜	重
重	鹿	具	島	本	本	張	賀	野	羽	田	可	坂	居	町	戶	子	山	重
重	鹿	志	志	南	北	張	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	摩	摩	半	半	賀	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	郡	郡	婁	婁	郡	郡	山	摩	治	氣	南	志	濃	藝	藝	鹿	重
重	鹿	和	濱	木	本	名	賀	上	鳥	山	相	松	久	新	神	白	龜	重
重	鹿	具	島	本	本	張	賀	野	羽	田	可	坂	居	町	戶	子	山	重
重	鹿	志	志	南	北	張	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	摩	摩	半	半	賀	賀	阿	志	宇	多	飯	一	安	河	河	鈴	三
重	鹿	郡	郡	婁	婁	郡	郡	山	摩	治	氣	南	志	濃	藝	藝	鹿	重

高津	高津	鈴鹿郡高津瀨村
松ヶ崎	松ヶ崎	一志郡松ヶ崎村
府中	府中	阿山郡府中村
玉瀧	玉瀧	阿山郡玉瀧村
三田	三田	阿山郡三田村
東栢	東栢	阿山郡東栢村

三重縣廳内出張所ハ三重縣廳内ノ分子取扱フ所トス
 一身田出張所ハ一身田警察署ノ分子取扱フ所トス
 富田出張所ハ第二中學校ノ分子取扱フ所トス
 菟野出張所ハ菟野警察署ノ分子取扱フ所トス
 濱島出張所ハ水産試驗所ノ分子取扱フ所トス
 和具出張所ハ水産學校ノ分子取扱フ所トス
 波切出張所ハ波切漁港修築事務所ノ分子取扱フ所トス
 神戸出張所ハ神戸警察署神戸中學校ノ分子取扱フ所トス
 第一中學校、種畜場、津測候所、國兒學園ノ分ハ津出張所ノ取扱トス
 高津瀨以下八ヶ所ハ輸出米検査手数料ニ依リ取扱フモノトス
 郵便振替貯金ニ依ル收入金ハ津出張所ニテ取扱フモノトス

●金庫出納事務規程

(明治三十三年三月二日) 訓令甲第十七號

明治三十四年三月訓令第二五號、同年八月同第五五號、三十五年二月同第一一號、同年三月同第一六號、同年六月同第四八號、同年一二月同第七五號、三十六年二月同第一九號、三十八年四月同第二〇號、三十九年八月同第五三號、同年一〇月同第四三號、四〇年一月同第四九號、四二年四月同第一九號、同年七月同第三二號、四四年三月同第一一號、同年六月同第三五號、同年一二月同第五二號、大正三年三月訓令甲第八號、五年五月同第六號改正

- 郡市役所 警察署
- 監獄支署 縣立學校
- 土木工區出張所
- 縣金庫 同出張所

明治二十八年(五月)三重縣訓令甲第三十號縣金庫出納事務規程 第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

程左ノ通り改正シ明治三十三年度分ヨリ施行ス

三重縣金庫出納事務規程

第一章 出納

- 第一條 縣金庫出納所ハ縣稅及雜入金保管金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ左ノ如ク取扱フヘシ
- 一 縣稅及雜入金ハ收納報告書ニ現金ヲ添ヘ翌日(休ロニ當ルトキハ順延トス以下亦同シ)迄ニ之ヲ縣金庫ヘ送付スヘシ但シ郵便振替貯金ニ依リ拂込ノ分ハ收納報告書ニ區分記載シ現金ハ拂戻ヲ俟ツテ送付スルモノトス
 - 二 出納閉鎖後ニ於ケル過年度ニ屬スル縣稅ハ現年度ノ雜入金トスヘシ
 - 三 削除
 - 四 保管金ハ拂戻ニ充ツルタメ之ヲ保管スヘシ
- 第二條 縣金庫ハ縣金庫出張所ヨリ前條ノ報告書及現金ノ送付ヲ受ケタルトキハ其報告書ニ現金ヲ領收シタル旨ヲ記載シ翌日迄ニ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ
- 第三條 縣金庫ハ縣金庫各出張所ニ於テ要スル仕拂基金ヲ常

ニ其ノ出張所ニ配置スヘシ但シ縣金庫三重縣廳内出張所ニ於テ要スル仕拂基金ハ縣知事ノ令達ニ依リ之ヲ配置スヘシ
第四條 縣金庫出張所ハ他ノ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノノ租稅其ノ他公課ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ保管金トシテ取扱フヘシ

第五條 縣金庫出張所ニ於テ仕拂命令仕拂通知書又ハ返納告知書ヲ受ケタルトキハ其様式及印盤等ヲ調査シ左ノ如ク取扱フヘシ

一 縣金庫出張所所在地ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂命令ナルトキハ規定ノ領收書引替ニ現金ヲ受取人ニ交付スヘシ
二 縣金庫出張所所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂命令ナルトキハ即日其金額ヲ受取人ニ送付シ規定ノ領收證書ヲ徴スヘシ

三 經濟ヲ異ニスル官廳等へ納金ノ爲メ仕拂ヲ要スル仕拂命令ナルトキハ即日納付ノ手續ヲナシ其領收證書ヲ徴スヘシ

四 現金仕拂濟ニ係ル仕拂命令ニハ其表面ニ年月日現金仕

拂濟ノ旨ヲ記入シ之ヲ保存スヘシ

第五條ノ二 縣金庫出張所(三重縣廳内出)ニ於テ仕拂命令又ハ返納告知書ヲ受ケタルトキハ仕拂金報告書ヲ調製シ翌日迄ニ之ヲ縣金庫ニ送付スヘシ

第五條ノ三 縣金庫ハ縣金庫出張所ヨリ前條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ取纏メ翌日迄ニ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ

第六條 縣金庫及縣金庫出張所ニ於テ徴シタル領收證書ハ直チニ當該收支命令官又ハ出納命令官ハ之レヲ差出スヘシ

第六條ノ二 小學校教員及幼稚園保母檢定並免許ニ關スル手数料、米穀検査手数料、蠶種検査手数料、工業試驗場分析其他手数料並檢定並出張旅費及工事其他ノ保證金ノ保管方ヲ申出ツルトキハ之ヲ領收シ別ニ定ムル處ノ様式ニ依リ保管證書ヲ交付スヘシ

前項ノ保管金ハ假保管金ノ科目ヲ設ケ出納スヘシ

第六條ノ三 前條假保管金ノ拂戻ハ保管證書ニ裏書セル主任官吏員ノ印盤並本人ノ印盤ヲ照合シ相違ナキヲ認メテ現金ヲ仕拂フヘシ

收入命令官若ハ出納命令官ヨリ前條假保管金ヲ歳入ニ編入又ハ保管金ニ振替ノ通知アリタルトキハ編入又ハ振替ノ手續ヲ爲スヘシ

第二章 帳簿

第七條 縣金庫ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ現金出納ノ當日之レカ登記ヲナスヘシ

某年度受拂簿

第八條 縣金庫出張所ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ整理スヘシ

某年度收入金内譯簿

某年度支出金内譯簿

保管金受拂簿

收入金内譯簿保管金受拂簿ハ現金出納ノ當日之カ登記ヲナスヘシ

支出金内譯簿ハ縣金庫ヨリ回金ヲ受ケタルトキ及仕拂命令ヲ受ケタルトキ之レカ登記ヲナスヘシ

支出金ノ返納ヲ受ケタルトキ及仕拂命令ヲ返付シタルトキ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

ハ支出金内譯簿ニ朱記シ支出額ヨリ控除スヘシ

第三章 收支計算

第九條 縣金庫ハ毎月受拂計算表甲乙二通ヲ調製シ翌月三日迄ニ縣廳へ差出シ其乙號ハ證明ヲ受ケ之ヲ保存スヘシ

第十條 縣金庫出張所ハ左ノ計算表甲乙二通ヲ調製シ翌月二日迄ニ當該收入命令官へ差出シ其乙號ハ證明ヲ受ケ之ヲ保存スヘシ

某年度收入金毎月計算表

某年度毎月仕拂計算表

第十一條 縣金庫出張所ハ保管金受拂報告表ヲ調製シ翌月二日迄ニ縣廳へ差出スヘシ

●縣金庫出納事務規程ニ依リ用フ
ル報告書計算書及帳簿様式

(明治二十八年六月十四日)
(訓令甲第三十六號)

明治三三年三月訓令甲第一八號、三六年一月訓令甲第一一號、三九年一〇月同第四四號、四二年七月同第三三號、四五年二月同第四號改正

- 郡市役所 警察署
- 警察分署 監獄支署
- 縣立學校 縣立病院
- 明野勸農場 水産試驗場
- 縣金庫 縣金庫出張所

縣金庫出納事務規程ニ依リ用フル報告書計算書及帳簿様式別冊ノ通相定ム

但シ目下現在ノ用紙帳簿ニシテ尙ホ使用シ得ヘキモノハ之ヲ取締ヒ當分使用スルモ妨ケナシ

麻衛名 明治何年度縣稅及雜入金
(又ハ何々)收納報告書

科 目	金 額
縣 稅	100,000 圓
雜 入 金	50,000 圓
計	150,000 圓
<p>上記ノ現金相添へ報告候也</p> <p>明治 年 月 日 縣金庫何地出張所圖</p> <p>知 事 宛</p> <p>明治 年 月 日 現金領收 縣金庫印</p>	
<p>備考</p> <p>一・本表ハ各麻衛 毎ニ一通ヲ調製スヘシ</p> <p>二・ 罹災救助基金・縣積立金・慈惠救濟基金・小學校教員恩給基金等特別會計ニ屬スル分ハ總テ各別紙ニ調製スヘシ</p> <p>三・用紙ハインキ 應用罫紙縦五寸横七寸 (但綴代共)</p> <p>四・左方ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ</p>	

拂			差引残	引高
本月命令 領收額	本月戻入又、 命令返付額	差引残		
圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
1,000,000	100,000	3,900,000	600,000	

明治何年度何年何月中收入金計算表

前月迄収入額	本月収入額	計
圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
50,000,000	20,000,000	70,000,000
明治	上記之通報候也 年 月 日 縣金庫何宛 當該収入命令	地出張所宛
(證明ノ例)	本表之金額調査候處相違無之 明治 年 月 日 収入	ニ付證明候也 命令官宛
備考 一	別院資 小學校教員恩給基金等ハ 濟ニ屬スル福災救助基金、勤業資金、病 金、教育資金 衛生資金各別 慈惠救濟基金、 紙ニ調製スヘシ	
二	用紙ハインキ應用美濃紙縱六寸横七寸八分 (但シ綴代共)	
三	左方ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ	

明治何年度何年何月中受拂計算表

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

摘要	受		拂		残	
	圓錢厘		圓錢厘		圓錢厘	
前月迄收入額	20,000,000					
本月月収入額	4,000,000					
前月迄同金額			15,000,000			
本月月同金額			500,000			
何地出張所へ但何官署ノ分			400,000			
何地出張所へ但何官署ノ分			400,000			
何地出張所へ但何官署ノ分			500,000			
△本月同金減額			△100,000			
△何地出張所分但何官署ノ分			△50,000			
△何地出張所分但何官署ノ分						
	24,000,000		16,950,000		7,050,000	
備考	明治	上年	之通報告候也	月日縣金庫	知事宛	キ應用美濃紙
一	用紙ハシ	イ級代ハ	ニ寸ヲ存置ス	ヘシ	ノ内ヨリ控至	同金減額トシ
二	左方ニ	同金減額	トシ	△印ハ朱書		
三	同金減額	トシ				
四	年度末	トキモ				

明治何年度何年何月中仕拂金計算表

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

前月迄基 金領收額	受			前月迄命 令領收額	
	本月基金 領收額	本月基金 還付額	差引残		
圓錢厘 4,000,000	圓錢厘 1,000,000	圓錢厘 500,000	圓錢厘 4,500,000	圓錢厘 3,000,000	
(證明ノ例)	明治	年	上記之通報告候也	月日縣金庫何地出張所	
備考	明治	年	本表之金額調査候處相違無之	月日仕拂命令官	
一	戻入及還付額ハ計ノ欄ニ於テ差引ス	二	甲號表ハ仕拂命令官ヲ受ケヘシ	三	乙號表ハイ級代共(但シシ)ニシテ
三	用紙ハシ	四	左方ニ		

第六編 財務 第二章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

摘要	受			拂戻高
	前月越高	本月受入高	計	
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
保管金	500000	800000	1,300000	1,200000
假保管金		17,500000	17,500000	17,500000
備考	一	明治年	上記之通 月日知事	報告縣金 候也庫何地出張所
	二	用紙ハインキ 七寸八分(但シ 左方ニ綴代一	應用美濃紙 シ綴代共)ス 寸ヲ存置	縦六寸横 ヘシ

拂		残
振替高	計	
圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
0	1,200000	100000
0	17,500000	0

第六編 財務 第二章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

年月日	摘要	受	拂	残
明治何年	何々(工事請負保証金等)受	50000		
	何々(同上)仕拂		50000	0

保管金受・拂簿

何地出張所

(備考)
一本簿ハ各所毎ニ口別スルモノトス

何 所 (署)

年月日	摘要	受	拂	残
明治何年		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
	何々(工事請負保証金等)受	50000		
	何々(同上)仕拂		50000	0

1. 何所(署)或ハ何學校或ハ何場 仕拂命令官 官氏名

年月日	摘要	基領金額	命領金額	残額
明治何年		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
		200000		
何何	何月分何費		5000	195000
何何	何費命令何枚		10000	185000
何何	何費一タ一何枚		3000	182000
	何月累計	200000	18000	162000
何何	何費命令何枚	100000	20000	
何何	何月分何費	50000		312000
	何何			

(此ノ如ク毎月累計ヲナスヘシ)

2. 何所(署)或ハ何學校或ハ何場 仕拂命令官 官氏名

年月日	摘要	基領金額	命領金額	残額
明治何年		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
		100000		
何何	何月分何費		1000	99000
何何	何費命令何枚		4000	95000
何何	何費一タ一何枚		2000	93000
何何	何費命令何枚		△1000	94000
何何	何費戻入		6000	88000
	計戻入控除	10000000	13000	
	何月累計	10000000	△1000	
	(其ノ月中ノ戻入ハ此ノ如ク毎月累計ヲナストキニ控除スヘシ)		6000	82000
何何	何費命令何枚	10000000		182000
何何	何月分何費		4000	178000
何何	何費命令何枚	20000000	22000	
何何	何月分何費	5000000		228000
何何	何費命令何枚		20000	208000
何何	何費命令何枚		30000	178000
何何	何費命令何枚		5000	173000

△印ハ朱書

何所(署)何學校或ハ何場

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

年月日	摘要	収入額	本庫へ送額	現在額
明治何年		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何何	地租割 納付書何枚	50000		
何何	戸數割 報何號	40000		
	同送		90000	0
		90000	90000	
何何	營業稅 納付書何枚	20000		
何何	雜種稅 報何號	10000		
何何	同送 送納書何枚	5000		
			35000	0
何何	雜種稅 納付書何枚	50000		
何何	同送 送納書何枚	2000		
			52000	0500
		177000	177000	
何何	雜種稅 納付書何枚	1000		
何何	同送 報何號		1000	
何何	雜種稅 送納書何枚	05000		
				0
		1785000	178000	
何何	同送 報何號		0500	
何何	雜種稅 納付書何枚	20000		
何何	同送 報何號		2000	
				0

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

某年度	
支出金内譯簿	
何地出張所	

(備考)
一本簿ハ各仕拂命令官毎ニ口別スルモノトス

5.

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

年月日	摘要	受	拂	受拂ノ差
	前業締高	0	0	0

6.

仕 拂 何地出張所

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

年月日	摘要	受 圓錢厘	拂 圓錢厘	受拂ノ差 圓錢厘
明治何年				
何月	費何分何		200000	200000
何日	費何分何		210000	410000
何日	戻何分何	50000		260000
何日	費何分何		200000	560000

3.

収入 何地出張所

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

年月日	摘要	受 拂			受拂ノ差
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	
明治何年					
何		4000		4000	
何		100000		104000	
何		60000		164000	
何	(出張所ヨリ差出シタル報告書ノ月日)				
何	何日何報何號				
何	何月何報何號				
何	何月何報何號				
何	何月何報何號				

4.

収入 何地出張所

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

年月日	摘要	受 拂			受拂ノ差
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	
明治何年					
何		600000		600000	
何		50000		650000	
何		200000		850000	
何	(後葉ノ繰 越ス トキノ例)				
何	追次繰高	0	0	0	

1.

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

名稱	丁數	名稱	丁數
總括	1	仕拂之部	5
收入之部		何地出張所	
何地出張所	2	何地出張所	
何地出張所	3	何地出張所	
何地出張所		何	
何地出張所			

2.

總括

年月日	摘要	受	拂	受拂ノ差
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
明治何年				
何	何地出張所ヨリ	604 00 0		604 00 0
ク	何地出張所外何箇所ヨリ	210 00 0		814 00 0
ク	何地出張所渡		200 00 0	614 00 0
ク	何地出張所渡		210 00 0	404 00 0
ク	何地出張所ヨリ	50 00 0		454 00 0
ク	何地出張所ヨリ(或ハ何地出張所外何ヶ所ヨリ)	200 00 0		654 00 0
ク	何地出張所渡(一ヶ一渡)		200 00 0	454 00 0

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第九款 縣金庫

解 衙 名 明治何年度縣費(又ハ何々)
仕拂金報告書

科 目	仕 拂 金 額
縣 費	150000 <small>錢厘</small>
△同 戻 入	5000
計	145000

上記ノ通報告候也

明治 年 月 日 縣金庫何地出張所
知 事 宛

備 考

- 一・本表ハ各解 衙毎ニ一通ヲ調製スヘシ
- 二・教育資金・加 俸資金等特別會計ニ屬スル分ハ總テ各別紙ニ調製スヘシ
- 三・用紙ハイン キ應用罫紙縦五寸横七寸(但シ綴代共)
- 四・左方ニ綴代 一寸ヲ存置スヘシ
- 五・△印ハ朱書 スヘシ

<p>某 年 度</p> <p>受 拂 簿</p> <p>縣 金 庫</p>	<p>(備考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 本簿ハ初メニ總括ノ口座ヲ設ケ收入仕拂ハ總テ之ヲ記入スルモノトス 一 總括ノ次ニ收入ノ口座ヲ設ケ次ニ仕拂ノ口座ヲ設ケルモノトス 一 收入及仕拂共各出張所毎ニ口別スルモノトス
--	---

第一
第二
第三
第四
第五
第六
第七
第八
第九
第十
第十一
第十二
第十三
第十四
第十五
第十六
第十七
第十八
第十九
第二十

第十款 縣有財產

●三重縣縣有財產管理規程

(明治三十九年一月六日訓令甲第一號)

附註 大正七年七月訓令甲第二五號改正

- 郡役所 警察署
- 同 分 署 縣立學校
- 測候所 農事試驗場
- 水産試驗場 農事講習所

三重縣縣有財產管理規程縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通改正ス

三重縣縣有財產管理規程

第一條 本規程ニ於テ縣有財產ト稱スルハ縣ノ所有ニ係ル各種ノ積立金ニ屬スル現金及有價證券並土地森林建物船舶及其ノ附屬物ヲ云フ
縣有財產ノ管理ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ本規程ニ依ル

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十款 縣有財產

第二條 有價證券ハ法令ノ規定ニ依ルモノノ外尙知事ニ於テ其ノ必要ヲ認メタル場合ニ於テハ之ヲ保護預ケト爲スコトヲ得
現金ハ之ヲ銀行預金ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル擔保ハ縣金庫ヨリ徵スル擔保ノ例ニ依ル

第三條 財產ヲ賣却シ又ハ之ヲ貸付スルトキハ總テ競争入札ニ付ス
左ノ場合ニ於テハ前項ニ依ラサルコトヲ得

- 一 縣會又ハ縣參事會ニ於テ隨時契約ニ依ルノ議決ヲ爲シタルトキ
- 二 公益ニ供セシムル爲財產ヲ賣却シ又ハ之ヲ貸付スルトキ
- 三 賣却豫定價格百圓未満ノモノ又ハ貸付豫定料年額拾圓未満ノモノナルトキ
- 四 貸付ノ用途ヲ指定シタル財產ナルトキ
- 五 再入札ニ付スルモ豫定價格又ハ豫定料金ニ達セス若ハ入札人ナキトキ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十款 縣有財産

二百六十二

此ノ規程施行前契約ヲ爲シタルモノハ其ノ契約ニ依ルヘシ

●縣經濟ニ屬スル土地建物船舶ノ
増減報告方

(明治四十一年六月十六日)
(訓令甲第三十一號)

- 郡役所
- 警察分署
- 測候所
- 農事試驗場
- 農事講習所
- 蠶病豫防事務所
- 縣立學校
- 驅獸院
- 水產試驗場
- 米穀検査所
- 勸業陳列館

縣經濟ニ屬スル土地建物船舶ノ増減ハ一箇年度分テ取纏メ左ノ書式ニ準シ翌年度四月三十日マテニ之ヲ報告スヘシ但シ土地延切ニ付テハ其ノ圖面ヲ添附スヘシ
明治三十五年三重縣訓令甲第五號ハ之ヲ廢止ス

六 急施ヲ要シ競争入札ニ付スルノ暇ナキトキ

第四條 財産ノ賣却代金ハ其ノ財産引渡前之ヲ完納セシム但シ縣參事會ノ議決ヲ經テ年賦賣却ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

財産ノ貸付料ハ一定ノ期限ニ對シ之ヲ定メタル場合ハ其ノ期間毎ニ前納セシメ其ノ他ノ場合ニ於テハ總テ之ヲ前納セシム

第五條 財産貸付ノ期間ハ十箇年以内トス但シ縣會又ハ縣參事會ニ於テ特ニ其ノ期限ヲ議決シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條 財産貸付ニ關シ必要ト認ムル場合ニ於テハ擔保ヲ徵スルコトアルヘシ

第七條 同一ノ種類ニシテ其ノ價格相均シキ財産之ヲ交換スルコトヲ得

第八條 公益事業ノ目的ヲ以テ財産ヲ貸付スル場合ニ於テハ縣參事會ノ議決ヲ經テ其ノ料金を徵セサルコトヲ得

附則

土地ノ部 何所土地建物異動報告

計	所在地	地種目	増		減		事由
			坪	價	坪	價	
郡市町村大字	何々用地	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			〃	〃	〃	〃	
			〃	〃	〃	〃	
			〃	〃	〃	〃	
計							

建造物ノ部

名稱	棟數又ハ箇所	増		減		事由
		坪數及間數	價	坪數及間數	價	
板	〃	〃	〃	〃	〃	〃
塀	〃	〃	〃	〃	〃	
土藏	〃	〃	〃	〃	〃	
建家	〃	〃	〃	〃	〃	
間	〃	〃	〃	〃	〃	
分厘	〃	〃	〃	〃	〃	
圓	〃	〃	〃	〃	〃	
部		部		部		
間	〃	〃	〃	〃	〃	
分厘	〃	〃	〃	〃	〃	
圓	〃	〃	〃	〃	〃	
部		部		部		

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十款 縣有財産

二百六十三

右報告候也 年月日 知事宛 備考	計		間		坪		何々長
	間	坪	間	坪	間	坪	
一 土地ノ部 縣有ニアラサルモノハ地種目以下空欄トシ事由欄ニ借地或ハ道路敷何何ト記スヘシ							
一 價格ハ賣買又ハ新築増築取毀變更ニ依ル價格ヲ記スヘシ但シ建造物修繕價格ハ算入セス							
一 圖面ハ増ハ墨書減ハ朱書スヘシ							
一 船舶ハ左ノ事項ヲ記スヘシ 船名、船質、噸數又ハ石數、間數、價格、船籍港又ハ定繫港、登記年月日但シ西洋形船ハ進水年月日ヲ記スヘシ							

第十一款 縣債

●縣債募集及償還方法ニ關スル件

(大正十年二月二十五日 告示第七十五號)

附則 大正一三年七月告示第三七四號改正

縣債募集及償還方法ニ關スル件左ノ通定ム

縣債募集及償還方法ニ關スル件

第一條 縣ハ大正九年暴風雨災害復舊費ニ充ツル爲大正九年

度ニ金拾貳萬五千圓大正十年度ニ金四拾七萬五千圓ヲ起債

スルモノトス

第二條 本公債證書ハ記名無利札トシ左ノ種類ヲ發行スルモノトス其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

大正十年三月三十一日發行
一金四萬七千參拾九圓

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十二款 縣債

一金四萬九千五百參拾貳圓
一金貳萬八千四百貳拾九圓
大正十二年三月三十一日發行

一金貳萬參千七百貳拾八圓
一金五萬四千九百貳拾貳圓
一金五萬七千八百參拾貳圓

一金六萬八千九百拾八圓
一金六萬四千二百拾五圓
一金六萬七千五百貳拾四圓

一金七萬壹千參圓
一金七萬四千八百拾八圓

第三條 本公債發行金額ハ縣極災救助基金經濟ヨリ借入レ前條ノ證書ト引換フルモノトス

第四條 債券ハ無記名利札付トス但シ應募者ノ請求ニ依リ記名利札付ト爲スコトヲ得
債券ノ種類及様式ハ知事之ヲ定ム
債券ノ發行價格ハ額面金額ト同額トス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

第五條 本公債ハ大正九年度ヨリ同十年度ニ至ル二箇年間ハ
元金据置キ大正十一年度ヨリ同二十年度ニ至ル十箇年間ニ
一般縣費ヨリ別紙償還年次表ノ通各年度ノ末日ニ元利金ヲ
償還スルモノトス但シ縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ
償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第六條 元金ハ證書ト引換ニ利子ハ現金ヲ以テ支拂フモノト
ス

附則

本規程ハ大正九年度ヨリ施行ス大正九年十二月十八日議決縣
借入金並償還方法ハ之ヲ廢止ス

●小住宅建設費縣債募集及償還方

法(大正十一年四月十一日)
告示第四百四十八號

附則 大正十一年八月告示第二八二號改正

小住宅建設費縣債募集及償還方法並大正十年度三重ノ歳入歳
出追加豫算左ノ通定ム

小住宅建設費縣債募集及償還方法

第一條 住宅組合ノ經營ニ屬スル住宅建築費ニ貸付スル爲大
正十年度ニ於テ金拾萬五千圓ヲ一時ニ起債スルモノトス

第二條 本公債ニ對シテ發行スル債券ハ記名無利札トシ其ノ
種類ハ五百圓、壹百圓ノ二種トス其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 募集金額ハ大藏省預金部ニ於テ前條債券ト引換フル
モノトス

第四條 本公債利子ハ一箇年四分八厘トシ毎年九月一日及三
月一日ニ於テ其ノ日前六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノ
トス但シ募集ノ際ニ於テハ現金拂込ノ日ヨリ償還ノ際ニ於
テハ仕拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第五條 本公債ノ元金ハ大正十一年度以降二十年間ニ於テ
別表ニ依リ毎年度九月及三月ニ之ヲ償還スルモノトス

縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還年限ヲ短縮シ又ハ
低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第六條 本公債ノ元金及利子ハ住宅組合ノ償還金並縣一般歳
入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第七條 本公債ノ元金ハ債券ト引換ニ償還スルモノトス

附則
本規程ハ大正十年度ヨリ施行ス

年 度	償 還 年 次 表	借入額		償 還 額	利 子	合 計
		一〇五、〇〇〇圓	年四分八厘			
大正十一年度	九月	105,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十二年度	三月	100,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十三年度	九月	98,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十四年度	三月	96,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十五年度	九月	93,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十六年度	三月	91,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十七年度	九月	89,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十八年度	三月	86,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正十九年度	九月	84,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十年度	三月	81,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十一年度	九月	79,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十二年度	三月	76,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十三年度	九月	74,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十四年度	三月	71,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十五年度	九月	69,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十六年度	三月	66,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十七年度	九月	64,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十八年度	三月	61,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正二十九年	九月	59,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十年	三月	56,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十一年	九月	54,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十二年	三月	51,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十三年	九月	49,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十四年	三月	46,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十五年	九月	44,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十六年	三月	41,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十七年	九月	39,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十八年	三月	36,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正三十九年	九月	34,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十年	三月	31,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十一年	九月	29,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十二年	三月	26,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十三年	九月	24,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十四年	三月	21,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十五年	九月	19,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十六年	三月	16,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十七年	九月	14,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十八年	三月	11,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正四十九年	九月	9,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正五十年	三月	6,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正五十一年	九月	4,000圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓
大正五十二年	三月	1,500圓	2,500圓	11,000圓	11,000圓	11,000圓

年度	三月	六月	九月	十二月	合計
大正十九年度	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	二四〇,〇〇〇
大正二十年度	五七,〇〇〇	五七,〇〇〇	五七,〇〇〇	五七,〇〇〇	二二八,〇〇〇
大正二十一年度	四九,〇〇〇	四九,〇〇〇	四九,〇〇〇	四九,〇〇〇	一九六,〇〇〇
大正二十二年度	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	一九一,〇〇〇
大正二十三年度	三九,〇〇〇	三九,〇〇〇	三九,〇〇〇	三九,〇〇〇	一五六,〇〇〇
大正二十四年度	三九,〇〇〇	三九,〇〇〇	三九,〇〇〇	三九,〇〇〇	一五六,〇〇〇
大正二十五年度	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	一一六,〇〇〇
大正二十六年度	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	一〇四,〇〇〇
大正二十七年度	二二,〇〇〇	二二,〇〇〇	二二,〇〇〇	二二,〇〇〇	八八,〇〇〇
大正二十八年度	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	六〇,〇〇〇
大正二十九年度	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	一九,〇〇〇
計	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	一五八,〇〇〇

●三重縣債募集及償還方法ニ關スル件

(大正十一年六月二十七日) 告示第二百四十八號

第一條 大正十二年二月告示第七一六號、同年八月同第
三二六號、一三年二月同第ニ四號、一四年三月同第
一四一號改正

三重縣債募集及償還方法ニ關スル件左ノ通定ム

三重縣債募集及償還方法ニ關スル件

第一條 縣營四日市港修築工事費追加ニ充當スル爲金貳百拾

萬六千圓ヲ大正十一年度以降四年度間ニ左ノ通募集ス

大正十一年度 金四拾五萬圓

大正十二年度 金七拾參萬五千圓

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

大正十三年度

大正十四年度

第二條 縣債ノ利率ハ一年百分ノ八以内トシ募集ノ際知事之

ヲ定ム

第三條 縣債ハ一般ヨリ募集ス但シ契約ニ依リ公共團體又ハ

銀行其ノ他ノ者ニシテ募集額ノ全部若ハ一部ヲ引受ケシム

ルコトアルヘシ

第四條 債券ハ無記名利札付トシ其ノ種類及様式ハ知事之ヲ

定ム

債券ノ發行價格ハ額面金額ト同額トス

第五條 縣債ハ大正十四年度マテ措置キ大正十五年度以降五

年度間ニ於テ抽籤ノ方法ニ依リ毎年度三月別紙償還年次表

ノ通償還スルモノトス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第六條 縣債ノ利子ハ毎年度九月末日及三月末日ニ於テ各其ノ月前六月分ヲ仕拂フモノトス但シ募集又ハ償還ノ際ニ於テ六月ニ滿タサル端數利子ハ募集ノ際ニハ現金拂込ノ當日ヨリ償還ノ際ニハ仕拂當日迄日割ヲ以テ計算スルモノトス

テ經テ代債券又ハ代利札ヲ交付ス但シ故障ノ申立アリタルトキハ裁判所ノ確定判決アルニアラサレハ交付セス
代債券又ハ代利札ノ交付ニ關スル一切ノ費用ハ減失又ハ紛失者ノ負擔トス

第七條 債券ノ元金及利子ハ債券又ハ利札引換ニ本縣金庫又ハ支金庫ニ於テ仕拂フモノトス

第十一條 債券又ハ利札ヲ汚損シタルトキハ其ノ旨知事ニ届出テ代債券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第八條 債券ノ元金ヲ償還スル場合ニ於テ其ノ債券ニ附屬スル利札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ元金ノ内ヨリ控除ス但シ利子仕拂期ノ開始シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ汚損ノ證據明確ナルモノハ直ニ代債券又ハ代利札ヲ交付シ其ノ眞偽判別シ難キモノハ前條第二項ノ例ニ依ル

第九條 縣債ノ元金及利子ハ本工事ニ伴フ收入及一般縣費ヲ以テ之ヲ支辨ス

第十二條 前二條ノ場合ニ於テハ代債券又ハ代利札ノ交付ヲ了スル迄之カ元金及利子ノ仕拂ヲ停止ス

第十條 債券又ハ利札ヲ減失若ハ紛失シタルトキハ其ノ旨知事ニ届出ツヘシ其ノ發見シタルトキ亦同シ

第十三條 第十條及第十一條ニ依リ代債券又ハ代利札ヲ交付シタルトキハ前債券又利札ハ其ノ效力ヲ失フ

前項減失又ハ紛失ノ届出アリタルトキハ之ヲ公告シ滿一年此ノ限ニ在ラス

第十四條 縣債ノ募集並償還ニ關スル細則ハ知事之ヲ定ム
附則
本規程ハ大正十一年度ヨリ施行ス

償還年次表 (貳百拾萬六千圓ノ内)

年 度	募 集 額	償 還 額	未 償 還 額	利 子	計
大正十二年三月	七五、〇〇〇		七五、〇〇〇	二、三五二	二、三五二
同 十三年三月	四〇一、〇〇〇		七三五、〇〇〇	二七、五六三	二七、五六三
同 十四年三月	五二〇、〇〇〇		一、三三六、〇〇〇	三〇、一一八	三〇、一一八
同 十五年三月			一、一三六、〇〇〇	四三、六〇〇	四三、六〇〇
同 十六年三月			一、六五八、〇〇〇	六三、一〇〇	六三、一〇〇
同 十七年三月			一、六五八、〇〇〇	六三、一〇〇	六三、一〇〇
同 十八年三月			一、四一、〇〇〇	六三、一〇〇	六三、一〇〇
同 十九年三月			七七一、〇〇〇	五二、九一三	五二、九一三
同 二十年三月			四〇〇、〇〇〇	五二、九一三	五二、九一三
同 二十一年三月			七三〇、〇〇〇	二八、八七五	二八、八七五
同 二十二年三月			四〇〇、〇〇〇	二八、八七五	二八、八七五
合 計	一、六五八、〇〇〇	一、六五八、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇

備考 募集期日ハ大正十二年度ハ一月十日大正十三年度ハ三月一日大正十四年度ハ十月一日ヲ以テ計算ス
第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債 二百七十一

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

利率年七朱五厘トシ圓位未滿ハ圓位ニ滿タシム

三重縣借入金並償還方法ニ關スル件

- 一、借入ノ額 八萬九千圓
- 二、借入ノ目的 四日市港修築工事費
- 三、利率 年五朱四厘
- 四、借入ノ先 日本勸業銀行
- 五、借入ノ時期 大正十三年度中但シ借入期日ハ日本勸業銀行ト協定スルモノトス
- 六、据置期間 借入ノ月ヨリ大正十七年九月迄
- 七、償還期限 大正十八年三月(別紙償還年次表ノ通)
- 八、償還財源 四日市港修築工業ニ伴フ收入及一般歳入

(別紙) 償還年次表(債額八萬九千圓 日本勸業銀行借入)

年 度	元金償還額	未償還額	利 子	元 利 合 計
大正十三年度 三月	1圓	89,000圓	1圓	89,001圓
同 十四年度 三月	1圓	89,000圓	2,403圓	2,404圓
同 十五年度 三月	1圓	89,000圓	2,403圓	2,404圓
同 十六年度 三月	1圓	89,000圓	2,403圓	2,404圓
同 十七年度 三月	1圓	89,000圓	2,403圓	2,404圓
計	89,000圓	1圓	19,214圓	19,215圓

備考 借入期日ハ三月三十一日ノ豫定利率ハ年五朱四厘トス

- 一起 債金額 金拾萬圓
- 一起 償ノ目的 縣農會自作農創設維持資金貸付
- 一利 率 年四朱八厘
- 一借 入 先 逓信省簡易生命保險積立金

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

一借入時期
一借置期間
一償還方法

大正十二年度
借入ノ月ヨリ大正十四年三月三十一日迄
元金ハ大正十四年度以降十年間ニ於テ毎年度九月、三月ノ兩度左記年賦償還表ノ
通償還スルモノトス

縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコ
トヲ得

一償還財源
縣債年賦償還表
縣農會償還金並縣一般歳入

年	度	未償還金	償還額	利子	合計
大正十三年	度	100,000.00	0.00	0.00	100,000.00
大正十四年	度	96,045.72	3,954.28	2,400.00	102,400.00
大正十五年	度	83,604.28	4,146.37	2,350.00	90,100.65
大正十六年	度	70,256.50	4,347.78	2,006.50	76,610.78
大正十七年	度	57,117.33	4,549.13	1,902.15	63,568.61
大正十八年	度	44,078.16	4,750.52	1,798.30	50,627.00
大正十九年	度	31,039.00	4,951.91	1,685.88	37,676.79
大正二十年	度	18,000.00	5,153.30	1,573.84	24,727.14
大正二十一年	度	5,000.00	5,354.69	1,459.11	11,813.80
大正二十二年	度	0.00	5,556.08	1,344.63	6,900.71
大正二十三年	度	0.00	5,757.47	1,230.16	6,987.63
合計		100,000.00	100,000.00	31,168.64	131,168.64

年	度	未償還金	償還額	利子	合計
大正十八年	度	60,796.55	4,780.44	1,573.84	67,150.83
大正十九年	度	55,901.38	4,891.17	1,459.11	62,251.66
大正二十年	度	50,888.73	5,002.65	1,344.63	57,236.01
大正二十一年	度	45,875.77	5,113.96	1,230.16	52,219.89
大正二十二年	度	40,862.81	5,225.15	1,115.69	47,203.65
大正二十三年	度	35,849.85	5,336.34	1,001.22	42,187.41
合計		311,168.64	311,168.64	100,000.00	622,337.28

備考 大正十三年度前期分利子ノ算出ハ五月二十五日ニ金拾萬圓ヲ借入ルルモノトシ其ノ翌日ヨリ九月末日迄
ノ日割計算ニ依ル
利子額ニシテ繰位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

●早害荒廢復舊費縣債募集及償還

方法

(大正十三年三月二十八日)
(告示第五百十號)

早害荒廢復舊費縣債募集及償還方法其ノ他左ノ通定ム

早害荒廢復舊費縣債募集及償還方法

第一條 個人ノ經營ニ屬スル早害荒廢復舊費ニ充ツヘキ資金

トシテ村ニ貸付スル爲大正十二年度ニ於テ金七萬參千五百

圓ヲ一時ニ起償スルモノトス

第二條 本公債ニ對シテ發行スル證書ハ記名無利札トシ其ノ

種類及様式ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 募集金額ハ大藏省預金部ニ於テ前條證書ト引換フル

モノトス

第四條 本公債利子ハ一箇年四分八厘トシ毎年九月一日及三

月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ仕拂フモ

ノトス但シ募集ノ際ニ於テハ現金拂込ノ翌日ヨリ償還ノ際

ニ於テハ仕拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第五條 本公債ノ元金ハ大正十四年度ヨリ大正三十一年度ニ

至ル十八箇年度間ニ於テ別表ニ依リ毎年度九月一日及三月

一日ニ之ヲ償還スルモノトス縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還

ヲ爲シ償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

第六條 本公債ノ元金及利子ハ村ヨリノ償還金或縣一般歳入

ヲ以テ之ヲ支辨ス

第七條 本公債ノ元金ハ證書ト引換ニ償還スルモノトス

附則

本規程ハ大正十二年度ヨリ之ヲ施行ス

(別表) 償還年次表
金七萬參千五百圓

年次	未償還元金	償還元金	償還利子	計
大正十三年度 三九 月	七三、五〇〇、〇〇〇	—	一、四八八、五二〇	一、四八八、五二〇
同 十四年度 三九 月	七三、五〇〇、〇〇〇	—	一、七六四、〇〇〇	一、七六四、〇〇〇
同 十五年度 三九 月	七二、五〇〇、〇〇〇	—	一、七六四、〇〇〇	一、七六四、〇〇〇
同 十六年度 三九 月	六九、五〇〇、〇〇〇	—	一、七六四、〇〇〇	一、七六四、〇〇〇
同 十七年度 三九 月	六六、五〇〇、〇〇〇	—	一、六六八、〇〇〇	一、六六八、〇〇〇
同 十八年度 三九 月	六三、五〇〇、〇〇〇	—	一、六六八、〇〇〇	一、六六八、〇〇〇
同 十九年度 三九 月	六〇、五〇〇、〇〇〇	—	一、六六八、〇〇〇	一、六六八、〇〇〇
同 二十年度 三九 月	五七、五〇〇、〇〇〇	—	一、五七二、〇〇〇	一、五七二、〇〇〇
同 二十一年度 三九 月	五四、五〇〇、〇〇〇	—	一、五七二、〇〇〇	一、五七二、〇〇〇
同 二十二年 三九 月	五一、五〇〇、〇〇〇	—	一、四七六、〇〇〇	一、四七六、〇〇〇
同 二十三年 三九 月	四八、五〇〇、〇〇〇	—	一、四七六、〇〇〇	一、四七六、〇〇〇
同 二十四年 三九 月	四五、五〇〇、〇〇〇	—	一、三八〇、〇〇〇	一、三八〇、〇〇〇
同 二十五年 三九 月	四二、五〇〇、〇〇〇	—	一、三八〇、〇〇〇	一、三八〇、〇〇〇
同 二十六年 三九 月	三九、五〇〇、〇〇〇	—	一、二八四、〇〇〇	一、二八四、〇〇〇
同 二十七年 三九 月	三六、五〇〇、〇〇〇	—	一、二八四、〇〇〇	一、二八四、〇〇〇
同 二十八年 三九 月	三三、五〇〇、〇〇〇	—	一、一八八、〇〇〇	一、一八八、〇〇〇
同 二十九年 三九 月	三〇、五〇〇、〇〇〇	—	一、一八八、〇〇〇	一、一八八、〇〇〇
同 三十年 三九 月	二七、五〇〇、〇〇〇	—	一、〇九二、〇〇〇	一、〇九二、〇〇〇
同 三十一年 三九 月	二四、五〇〇、〇〇〇	—	一、〇九二、〇〇〇	一、〇九二、〇〇〇
同 三十二年 三九 月	二一、五〇〇、〇〇〇	—	一、〇九二、〇〇〇	一、〇九二、〇〇〇

同	二十二年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,九六六,〇〇〇	二,九九六,〇〇〇
同	二十三年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	九,四八〇,〇〇〇	二,九九八,〇〇〇
同	二十四年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	八,五二〇,〇〇〇	二,九九〇,〇〇〇
同	二十五年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	七,五六〇,〇〇〇	二,八九〇,〇〇〇
同	二十六年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	六,六〇〇,〇〇〇	二,八〇〇,〇〇〇
同	二十七年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	五,六四〇,〇〇〇	二,七五六,〇〇〇
同	二十八年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	四,六八〇,〇〇〇	二,七〇八,〇〇〇
同	二十九年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	三,七二〇,〇〇〇	二,六六〇,〇〇〇
同	三十年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,七六〇,〇〇〇	二,六二二,〇〇〇
同	三十一年度	三九	三月	三九,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇	二,五八四,〇〇〇
計	三十一年度	三九	三月	二,五〇〇,〇〇〇	七三,五〇〇,〇〇〇	三六,四八〇,五〇〇	一〇九,九八〇,五〇〇

備考

本年次表ハ大正十三年三月三十一日現金ヲ受入ルルモノトシテ算定シタルモノナリ

● 小住宅建築費並共同浴場建設費
縣債募集及償還方法

(大正十三年四月十五日)
(告示第九十三號)

小住宅建築費並共同浴場建設費縣債募集及償還方法其ノ他左ノ通定ム

小住宅建築費並共同浴場建設費縣債募集及償還方法

第一條

住宅組合及產業組合ノ經營ニ屬スル住宅建築費ニ貸付スル爲並浴場組合ノ經營ニ屬スル共同浴場建設費ニ充ツヘキ資金トシテ村ニ貸付スル爲大正十二年度ニ於テ金八萬八千圓ヲ一時ニ起債スルモノトス

第二條

本公債ニ對シ發行スル債券ハ記名無利札トシ其ノ種類ハ五百圓壹千圓ノ二種トス其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第三條

募集金額ハ大藏省預金部ニ於テ前條債券ト引換フル

第六編 財務 第二章 縣ノ財務 第十二款 縣債

モノトス

第四條 本公債利子ハ一箇年四分八厘トシ毎年度九月一日及三月一日ニ於テ各其ノ日迄六箇月間ニ屬スルモノヲ支拂フモノトス但シ募集ノ際ニ於テハ現金拂込ノ翌日ヨリ償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第五條 本公債ノ元金ハ大正十三年度以降二十箇年間ニ於テ別表ニ依リ毎年度九月一日及三月一日ニ之ヲ償還スルモノトス

縣財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借換ヲ爲スコトヲ得

第六條 本公債ノ元金及利子ハ住宅組合產業組合及村ノ償還金並縣一般歳入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第七條 本公債ノ元金ハ債券ト引換ニ償還スルモノトス

附 則

本規程ハ大正十二年度ヨリ施行ス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

償還年次表 起債額八萬八千圓 利率年四分八厘

年	度	未償還額	償還額	利率	子	合	計
大正十三年	三九	八六,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,七八二,一八〇	一,七八二,一八〇	一,七八二,一八〇
同十四年	三九	八三,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	三,五〇〇
同十五年	三九	八〇,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,九六六	一,九六六	三,四六八
同十六年	三九	七七,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,八九六	一,八九六	三,八四八
同十七年	三九	七三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,七〇〇	一,七〇〇	三,七五二
同十八年	三九	六九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,六〇〇	一,六〇〇	三,六〇〇
同十九年	三九	六五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	三,五〇〇
同二十年	三九	六一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	三,四〇〇
同二十一年	三九	五七,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,三〇〇
同	三九	五三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	三,二〇〇
同	三九	四九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一一〇〇	一一〇〇	三,一〇〇
同	三九	四五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	三,〇〇〇
同	三九	四一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	九〇〇	九〇〇	二,九〇〇
同	三九	三七,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	八〇〇	八〇〇	二,八〇〇
同	三九	三三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	七〇〇	七〇〇	二,七〇〇
同	三九	二九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	六〇〇	六〇〇	二,六〇〇
同	三九	二五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	五〇〇	五〇〇	二,五〇〇
同	三九	二一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	四〇〇	四〇〇	二,四〇〇
同	三九	一七,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	三〇〇	三〇〇	二,三〇〇
同	三九	一三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	二〇〇	二〇〇	二,二〇〇
同	三九	九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一〇〇	一〇〇	二,一〇〇
同	三九	五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	〇	〇	二,〇〇〇
同	三九	一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	〇	〇	一九〇〇
同	三九	〇	一,五〇〇	一,五〇〇	〇	〇	一,八〇〇

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債

年	度	未償還額	償還額	利率	子	合	計
同	三九	五三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	三,二〇〇
同	三九	四九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一一〇〇	一一〇〇	三,一〇〇
同	三九	四五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	三,〇〇〇
同	三九	四一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	九〇〇	九〇〇	二,九〇〇
同	三九	三七,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	八〇〇	八〇〇	二,八〇〇
同	三九	三三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	七〇〇	七〇〇	二,七〇〇
同	三九	二九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	六〇〇	六〇〇	二,六〇〇
同	三九	二五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	五〇〇	五〇〇	二,五〇〇
同	三九	二一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	四〇〇	四〇〇	二,四〇〇
同	三九	一七,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	三〇〇	三〇〇	二,三〇〇
同	三九	一三,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	二〇〇	二〇〇	二,二〇〇
同	三九	九,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一〇〇	一〇〇	二,一〇〇
同	三九	五,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	〇	〇	二,〇〇〇
同	三九	一,〇〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	〇	〇	一九〇〇
同	三九	〇	一,五〇〇	一,五〇〇	〇	〇	一,八〇〇

計

八八、〇〇〇

四七、五六、一八〇

二五、五六、一八〇

二百八十二

本表ハ大正十三年三月三十一日現金ヲ受入ルルモノトシテノ算定ナリ

三重縣債券發行取扱取程

(大正十一年八月一日)
告示第二百八十一號

附則 大正十一年一月告示第四五四號、一二年二月同第四八五號、一四年二月同第四一號改正

三重縣債券發行取扱規程左ノ通定ム

三重縣債券發行取扱規程

- 第一條 大正十一年六月三號告示第二百四十八號縣債募集及償還方法ニ關スル件第一條ニ依リ募集スル債券「大藏省預於テ引受クルモノヲ除ク」ノ發行及取扱手續ハ本規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 債券ハ五拾圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、壹萬圓ノ六種トシ別紙第一號様式ニ依リ調製ス
- 第三條 縣債ノ利率ハ大正十一年度ニ募集スルモノハ一年百分ノ七トシ大正十二年度以降募集スルモノハ其ノ募集ノ際之ヲ定ム
- 第四條 債券ノ額面金額、記號、番號、發行要項及發行年月日ハ之ヲ縣債臺帳ニ登錄シ債券ト割印ヲ爲スモノトス
- 第五條 縣債ノ募集金額、利率、申込期限、拂込期限、元金償還額、償還期限其ノ他必要ナル事項ハ豫メ縣公報若ハ新聞紙ヲ以テ公告ス
- 第六條 縣債ノ應募者ハ別紙第三號様式ノ申込書ニ應募額百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ縣ニ差出スヘシ但シ公共團體若ハ公益團體ノ申込ニハ保證金ヲ要セス
- 第七條 縣債ノ應募總額債券發行總額ヲ超過スル場合ニ於テ各申込ニ對スル募入額ハ知事之ヲ定ム
- 前項ノ場合ニ於テ募入外トナリタルモノノ保證金ハ應募者

ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

- 第八條 縣債ノ募入決定シタルトキハ其ノ旨應募者ニ通知ス
- 第九條 前條募入ノ通知ヲ受ケタル者ハ拂込期限内ニ募入額ニ對スル金額ヲ縣ニ拂込ムヘシ但シ保證金ハ之ヲ拂込金ニ充當スルモノトス
- 第十條 應募金ノ拂込ヲ怠リタルトキハ拂込期限ノ翌日ヨリ拂込ヲ爲シタル日迄拂込金百圓ニ付日歩參錢ノ割合ヲ以テ延滞利子ヲ仕拂フヘシ
- 拂込期限後三十日以内ニ拂込ヲ爲ササルトキハ應募ノ申込ヲ無効トシ既納ノ保證金ハ之ヲ縣ニ收得ス
- 第十一條 債券又ハ利札ヲ減失、紛失若ハ汚損シタル爲代債券又ハ代利札ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ額面金額、記號、番號其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ減失若ハ紛失ノ場合ハ其ノ事由ヲ具シ汚損ノ場合ハ其ノ債券又ハ利札ヲ添ヘ之ヲ縣ニ差出スヘシ
- 代債券又ハ代利札ヲ減失、紛失若ハ汚損シタルトキハ前項ノ例ニ依ル
- 代債券又ハ代利札ハ別紙第一號様式ニ依リ調製シ別紙第二號様式ニ定ムル印ヲ捺捺スルモノトス
- 第十二條 代債券又ハ代利札ヲ交付スルトキハ左ノ料金を徴收ス
 - 一、代債券 一枚ニ付參拾錢
 - 一、代利札 一枚ニ付拾錢
- 代債券又ハ代利札ノ交付ニ付前項ノ外特ニ要シタル實費ハ之ヲ徴收ス
- 第十三條 記名債券ハ別紙第一號様式ニ依リ調製シ債券及利札ニ記名ノ二字ヲ捺捺シ債券ノ左側ニ別紙第二號様式ノ二ニ定ムル用紙ヲ添付シテ債券及臺帳ト割印ヲ爲スモノトス
- 第十四條 無記名債券ヲ記名債券ニ記名債券ヲ無記名債券ニ變換セムトスル者ハ其ノ請求書ニ債券ヲ添付シ之ヲ縣ニ差出スヘシ
- 第十五條 記名債券ノ賣買讓渡ヲ爲シタル者ハ双方連署シタル記名換請求書ニ債券ヲ添付シ之ヲ縣ニ差出スヘシ
- 第十六條 相續ニ因リ記名債券ヲ取得シタルトキハ前條ニ準

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十一款 縣債
シ記名換ノ請求ヲ爲スヘシ
附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(別紙) 第一號樣式(略ス)

第二號樣式

代債券

代利札

縱一寸二分橫七分

縱七分橫四分

第二號樣式ノ二
縱五寸

橫四寸

登錄年月日	記名者住所及氏名
大正 月 日 年	何市何町何大字何某

第三號樣式

三重縣債券應募申込書

申込總額金 圓也 但シ保證金 圓添付

内 譯

五拾圓券 何 枚 百圓券 何 枚

五百圓券 何 枚 千圓券 何 枚

五千圓券 何 枚

大正 年 月 日

何市町村大字 番地

氏 名 印

三重縣知事山脇春樹殿

第十二款 會計検査

●三重縣會計検査規程

(明治三十三年三月二日)
(訓令甲第十五號)

明治三十四年三月訓令甲第二四號、三十八年五月同

第二七號改正

- 郡市役所 警察署
- 同 分署 監獄支署
- 縣立學校 縣金庫
- 同出張所 廳 勸業院
- 土木工區出張所 水産試驗場
- 明野勸農場

三重縣會計検査規程左ノ通り相定ム

但明治二十六年(八月)訓令甲第四十七號ハ廢止ス

三重縣會計検査規程

第一條 縣經濟ニ關スル會計ノ検査ハ此規程ニ據ル

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十二款 會計検査

縣經濟ヨリ補助ヲ與ヘタル事業若クハ營造物ノ會計ヲ検査スル場合ニ在テモ亦同シ

第一章 書類検査

第二條 歳入歳出及保管金ニ關スル報告書計算書證憑書類ハ第一部長之ヲ検査スヘシ

第三條 検査ノ事項ニ關シ必要アルトキハ第一部長ハ當該吏員ニ密理書ヲ發シ答辯又ハ正誤セシムヘシ

第二章 實地検査

第四條 實地検査ハ通常毎年一回トス
但特ニ臨時検査ヲ行フコトアルヘシ

第五條 検査員ハ官吏若クハ吏員ノ中ニ就キ知事之ヲ命ス

第六條 検査員出張スルトキハ検査章ヲ携帯シ當該吏員ノ求メニ應ジテ之ヲ示スヘシ

第七條 検査員ノ検査スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

- 一 歳入歳出決算ノ當否
- 二 財産ノ管理處分及取扱方
- 三 金錢物品ノ出納及保管ノ實況

四 縣稅及雜收入賦課徵收ノ當否及取扱方

第八條 検査員ハ出納及取扱ニ關スル簿冊ヲ檢閲シ其他必要ト認ムル書類ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九條 検査員ハ檢閲シタル帳簿書類又ハ現品其他取扱上ニ關シ口頭又ハ書面ヲ以テ當該吏員ノ辯明ヲ求ムルコトヲ得

第十條 検査員ニ於テ検査上摘發シタル事項ハ左ノ各項ニ據リ取扱フヘシ

一 重大ノ事項ト認ムルモノハ其顛末及意見ヲ速ニ知事ニ具申スヘシ

二 取扱上ノ怠慢疎略又ハ不合規等ニ關シ注意ヲ促スノ必要アルカ若クハ責任者ノ答辯ヲ確ムルノ必要アルモノハ注意書若クハ推問書ヲ發スヘシ

三 微細ノ事項ニシテ直チニ更正シ得ラルルモノハ之ヲ正誤セシムヘシ

第十一條 檢閱簿ノ帳簿ニシテ不都合ナキモノハ明治何年何月何日迄檢了ト記載シ之レニ認印スヘシ

第十二條 検査員検査ヲ了シタルトキハ會計検査報告書ヲ調

製シ關係書類ヲ添付シ知事ニ復命スヘシ

第十三款 俸給旅費及諸給

●三重縣給與規程

(明治三十二年三月十七日) 訓令甲第二十五號

明治三十二年六月訓令甲第五九號、三三年三月同

第三一號、同年四月同第四二號、同年七月同第六三

號、同第六七號、三四年一月同第一號、同年三月同

第二七號、同年七月同第四三號、三五年四月同第三

三號、三六年三月同第二五號、同年九月同第五五號

三七年九月同第四九號、三八年四月同第二二號、三

九年七月同第二七號、同年八月同第三四號、四〇年

一月同第四五號、四二年三月同第一一號、同年五

月同第二二號、同年六月同第二九號、四三年二月同

第一號、同年四月同第一一號、同年六月同第二二號

四四年三月同第六號、四五年七月同第二〇號、大正

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

給

二年五月同第一六號、同年一二月同第三〇號、四年一月同第一號、七年三月同第七號、同年四月同第一四號、同年七月同第二四號、八年二月同第二號、同年三月同第六號、同年九月同第三六號、九年四月同第一六號、同年六月同第二六號、同年八月同第三三號、同年十一月同第四一號、一〇年三月同第六號、同年四月同第一二號、同年五月同第一八號、一一年四月同第一〇號、同年六月同第一五號、一二年四月同第七號、同年六月同第一三號、同年七月同第一六號、一三年五月同第七號、同第八號、同年八月同第一九號、一四年五月同第一二號改正

郡役所 警察署
同分署 縣立病院
測候所 農事試驗場
水産試驗場 農事講習所
勸業陳列館 工業試驗場
三重縣給與規程左ノ通り相定メ來ル四月一日ヨリ施行ス但明

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給
 治三十年(十月)訓令甲第八十八號同三十一年(三月)訓令甲第二
 十號同第二十一號及同年(四月)同第二十五年同第二十六號
 ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

三重縣給與規程

第一章 給料

第一條 年俸月俸ハ新任及ヒ増俸減俸トモ其翌日ヨリ之ヲ支
 給シ轉任ノトキハ其當日迄前任任職ニ於テ之ヲ支給スヘシ
 退職非職又ハ死亡ノトキハ當月分ノ俸給全額ヲ支給ス
 日給ハ雇人及増俸減俸トモ其當日ヨリ之ヲ支給シ解雇ノト
 キハ其當日迄之ヲ支給ス
 第二條 退職又ハ非職ノモノ事務引繼殘務調理ノ爲職務ニ從
 事シ翌月以後ニ遡ルトキハ其間尙從前ノ俸給ヲ支給ス但シ
 全月ニ至ラサルトキハ其俸給ヲ日割支給ス
 退職又ハ休職ニ依リ其月全額ノ俸給ヲ受ケタルモノ其月復
 ヒ同一解雇ニ採用シタル場合ニ在テハ更ニ其月分ノ俸給ヲ
 支給セス但シ前給ニ比シ支給額ノ増加シタル場合ニ在リテ
 ハ増俸ノ例ニ依ル

第三條 病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ踰ユルモノ及私事
 ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ踰ユルモノハ俸給ノ
 半額ヲ減ス但シ公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタ
 ルトキ及特別賜暇服忌ハ減給トナルヘキ日數ニ計算セス又
 病氣ト故障ト連續スルモ其日數ヲ通算セス

第四條 日給ハ出勤日數ニ依リ之ヲ支給ス但シ公務ノ爲傷疾
 ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ及休暇日服忌中ハ仍ホ之
 ヲ支給ス

第五條 給仕使丁勸業陳列館看守人等ノ給料支給ノ方法ハ日
 給ノ例ニ依ル

第六條 年俸十二分ノ一及ヒ月俸ハ毎月二十一日之ヲ支給シ
 日給ハ翌月五日之ヲ支給ス但シ休日ニ當ルトキハ之ヲ額ト
 ケ退職轉任異動其ノ他知事ニ於テ必要アリト認ムル場合ニ
 於テハ隨時支給ス

第七條 給料ヲ支給スルニ當リ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生ス
 ルトキハ之ヲ切捨ツルモノトス日割計算ノ法ハ總テ其ノ月
 ノ日數ニ依ル

第八條 月手當年手當支給ノ方法ハ本章ノ規程ヲ準用ス但シ
 年手當ニ限リ年度末ニ於テ其ノ全額ヲ一時ニ支給スルコト
 アルヘシ

第二章 旅費

第九條 官吏ニシテ兼テ縣費ヲ支給ヲ受クル職ニ在ル者ノ旅
 費ハ官吏トシテ受クル旅費ト同一ノ額ヲ支給ス其ノ兼職ノ

旅費額第一表

等	級		車馬賃	日當	甲地方	乙地方	甲地方	乙地方	宿泊料	一夜ニ付	食卓料	一夜ニ付	移轉料
	一 五等 以上	二 六等 以下											
等	管内	管外	九拾錢	六圓	五圓	八圓	七圓	貳圓五十錢	二十里未滿	四拾五圓	二十里未滿	四拾五圓	二十里未滿
	管内	管外	九拾錢	五圓	四圓	七圓	六圓	貳圓五十錢	二十里以上	四拾五圓	二十里未滿	四拾五圓	二十里以上
二	管内	管外	七拾五錢	參圓	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里未滿	貳圓	二十里未滿	貳圓	二十里未滿
	管内	管外	七拾五錢	參圓	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里以上	貳圓	二十里未滿	貳圓	二十里以上
等	管内	管外	四拾五錢	參圓	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里未滿	壹圓	二十里未滿	壹圓	二十里未滿
	管内	管外	四拾五錢	參圓	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里以上	壹圓	二十里未滿	壹圓	二十里以上
等	管内	管外	七拾五錢	貳圓五十錢	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里未滿	貳圓	二十里未滿	貳圓	二十里未滿
	管内	管外	七拾五錢	貳圓五十錢	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里以上	貳圓	二十里未滿	貳圓	二十里以上
等	管内	管外	四拾五錢	貳圓五十錢	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里未滿	壹圓	二十里未滿	壹圓	二十里未滿
	管内	管外	四拾五錢	貳圓五十錢	貳圓五十錢	四圓	三圓	壹圓參拾錢	二十里以上	壹圓	二十里未滿	壹圓	二十里以上

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

爲受クル額官吏トシテ受クル額ニ比シ多キ場合ニ於テハ兼
 職相當ノ額ヲ支給スルコトヲ得但シ別ニ規定アルモノハ此
 ノ限ニ在ラス

第十條 在勤廳ヲ距ル一里未滿ノ市町村及特ニ指定シタル市
 町村ハ在勤廳所在地ト看做ス

第十一條 普通旅費ハ左ノ各表ニ依リテ之ヲ支給ス

等	管外	六拾錢	貳圓	壹圓八拾錢	參圓五拾錢	參圓貳拾錢	壹圓貳拾錢
	管内	參拾錢	九拾	拾錢	壹圓	八拾錢	六拾錢
四等	管外	四拾五錢	壹圓五拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓七拾錢	八拾錢
	管内	貳拾五錢	六拾	拾錢	壹圓五拾錢	四拾錢	四拾錢

- 一、一等旅費ハ委任官ノ待遇ヲ受クル者ニ支給ス
- 二、二等旅費ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者及囑託員、警察技手、警察獸醫、警察及衛生上雇入ニ係ル醫師、藥劑師、獸醫、武術教師、勸業陳列館書記、縣立病院書記ニ支給ス
- 三、三等旅費ハ雇員ニ支給ス
- 四、四等旅費ハ給仕、使丁、其ノ他小者ニ支給ス但シ電話工夫ニハ特別ノ事由ニ依ル場合ノ外車馬賃ヲ支給セズ

一、市町村吏員ヲ特ニ縣ノ用務ヲ以テ旅行セシムルトキハ市長ハ一等旅費中五等以上ノ額ヲ市助役及町村長助役ハ二等旅費中月俸八十五圓以上ノ額ヲ其ノ他市町村吏員ハ月俸八十五圓未満ノ額ヲ支給ス

一、鐵道賃ハ一等旅費ヲ受クル者ニ在リテハ一等ノ運賃(通行稅ヲ含ム)ニ等旅費ヲ受クル者ニ在リテハ二等ノ運賃(通行稅ヲ含ム)三等及四等旅費ヲ受クル者ニ在リテハ三等ノ運賃(通行稅ヲ含ム)ヲ支給ス但シ一等旅費ヲ受クル者ニシテ一等車ノ連結ナキ線路ニ依ル旅行ニ在リテハ二等ノ運賃ヲ支給シ運賃ノ等級ニ階級ニ區分スルモノニ在リテハ一等及二等旅費ヲ受クル者ニハ上級ノ運賃ヲ三等及四等旅費ヲ受クル者ニハ下級ノ運賃ヲ

支給シ其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ其ノ乘車ニ要スル運賃ヲ支給ス
急行料金ノ支給ニ關シテハ大正九年五月大藏省令第十六號第一條ノ規定ヲ準用ス

- 一、船賃ハ旅客運賃(通行稅及解船賃ヲ含ム)及急行料金ニ依リ鐵道賃ノ例ニ準シ之ヲ支給ス
- 一、赴任手當ハ日當三日分宿泊料三夜分ニ相當スル額ヲ支給ス
- 一、家族移轉料ハ家族一人毎ニ本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料ノ四分ノ一及赴任手當ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ十二歳未満ノ家族ニ付テハ其ノ半額トス

一、本表中甲地方トハ大正十三年十二月十二日大藏省令第二十八號ニ定ムル地域ヲ謂ヒ乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ

區別	車馬賃		日當		宿泊料		食卓料		移轉料
	一里ニ付	甲地方	乙地方	甲地方	乙地方	一	二	一夜ニ付	
縣	月俸八拾五圓以上	七拾五錢	參圓	貳圓五拾錢	五圓五拾錢	五圓	貳圓	貳圓	二十里未満 參拾圓
外郡	月俸八拾五圓未満	七拾五錢	貳圓五拾錢	貳圓貳拾錢	四圓五拾錢	四圓	貳圓	貳圓	
外郡	月俸八拾五圓以上	四拾錢	壹圓九拾錢	參圓五拾錢	參圓	壹圓	壹圓	壹圓	二十里以上 四拾五圓
外郡	月俸八拾五圓未満	四拾錢	壹圓五拾錢	參圓	參圓	壹圓	壹圓	壹圓	
內郡	月俸八拾五圓以上	參拾錢	壹圓	貳圓	貳圓	壹圓	壹圓	壹圓	
內郡	月俸八拾五圓未満	參拾錢	九拾	錢	壹圓八拾錢	壹圓	壹圓	壹圓	

- 一、本表ノ旅費ハ郡書記、郡視學及郡技手ニ支給ス
- 一、鐵道賃ハ二等ノ運賃(通行税ヲ含ム)ヲ支給ス但シ運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ上級ノ運賃ヲ支給シ其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ其ノ車ニ要スル運賃ヲ支給ス
- 急行料金ノ支給ニ關シテハ大正九年五月大藏省令第十六號第一條ノ規定ヲ準用ス
- 一、船賃ハ旅客運賃(通行税及船賃ヲ含ム)及急行料金ニ依リ鐵道賃ノ例ニ準シ之ヲ支給ス
- 一、赴任手當ハ日當三分宿泊料三夜分ニ相當スル額ヲ支給ス
- 一、家族移轉料ハ家族一人毎ニ本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料ノ四分ノ一及赴任手當ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ十二歳未満ノ家族ニ付テハ其ノ半額トス
- 家族ノ數三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スル者ニ付支給スル家族移轉料ハ前項ノ規定ニ依ル給額ノ半額トス
- 一、本表中甲地方トハ大正十三年十二月十二日大藏省令第二十八號ニ定ムル地域ヲ謂ヒ乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ

第十二條 在勤處所在地ニ出張シ二里以上ニ互ルトキハ日當ノ半額ヲ支給ス

在勤處所在地ニ出張シ宿泊ヲ要シタルトキハ所屬廳長ノ認可ヲ受テ特ニ宿泊料ヲ支給スルコトアルヘシ

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ在リテハ日額旅費ヲ支給ス

- 一 水産試驗場職員試驗船及指導船ニ搭乘宿泊ヲ要シタルトキ
 - 技師 内地 一日 金參圓拾錢
 - 技手 内地 一日 金貳圓貳拾錢
- 一ノ二 水産試驗場職員試驗船及指導船ニ搭乘シ水産試驗場所在地外ニ出張シ場長ニ於テ其ノ船舶内ニ宿泊
 - 郡農林主事補 日額 丙 貳圓五拾錢
 - 郡農林技手 日額 乙 壹圓
 - 郡農林技手 日額 丙 貳圓

シ難キ事情アリト認ムルトキ

技師 内地 一日 金五圓

技手 内地 一日 金參圓五拾錢

二 水産試驗場所屬試驗船及指導船ノ船員(常備漁夫及練習生ヲ除ク)ニシテ其ノ試驗船又ハ指導船ニ乗組ミ出動シタルトキ但シ三重縣水産試驗場所屬船及借入船漁獲物給與規程第四條ノ二ニ依ル手當ヲ受ケル場合ハ此ノ限ニ在ラス

三 農事講習所技手(女子)一定ノ場所ニ出張シ滞在七日以上ニ達フトキハ其ノ滞在中

一日 金壹圓八拾錢

四 郡產業職員郡書記又ハ郡技手ニシテ郡產其ノ郡内ニ出張スルトキ但シ數郡ヲ兼ムル者ハ其ノ數郡ヲ通シテ一郡ト看做シ本務地ヲ以テ在勤地トス

日額 甲 四圓

郡農林技師 日額 乙 壹圓五拾錢

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

- 郡農林主事補 日額 丙 貳圓五拾錢
- 郡農林技手 日額 乙 壹圓
- 郡農林技手 日額 丙 貳圓
- 甲ハ一日ノ行程陸路六里、鐵道十五哩、水路十二里以上ニ互ルトキ又ハ宿泊ヲ要シタルトキ乙ハ一日ノ行程陸路六里、鐵道十五哩、水路十二海里未満ノトキニ丙ハ宿泊シタル場合翌日ノ行程陸路六里、鐵道十五哩、水路十二海里未満ノトキニ支給ス
- 在勤地ノ市町村ニ出張シ宿泊ヲ命セラレタルトキハ宿泊數ニ應シ甲號ノ額ヲ支給ス
- 數郡ヲ兼ムル者兼務地ニ滞在中(到着ノ翌日ヨリ出發ノ前日迄)ハ郡農林技師日額貳圓、郡農林主事補、郡農林技手日額壹圓五拾錢ヲ支給ス
- 農事試驗場長縣廳ニ出張スルトキ
 - 日額 壹圓
- 六 郡在勤漁業監督吏員取締船ニ搭乘出張スルトキ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

二百九十四

奏任官ノ待遇ヲ受クル者

日額 甲 四圓五拾錢
日額 乙 參圓
日額 丙 貳圓

判任官及同待遇ヲ受クル者

日額 甲 參圓五拾錢
日額 乙 貳圓五拾錢
日額 丙 壹圓五拾錢

甲ハ陸上宿泊シタルトキ乙ハ取締船内ニ宿泊シタルトキ丙ハ宿泊セサルトキ及宿泊ノ翌日之ヲ支給ス

在勤地ト其ノ乗船若ハ下船地間トノ旅行ニ在リテハ日額旅費ノ外車馬賃、汽車賃船賃ヲ支給ス但シ管外旅行ノ場合ハ普通旅費ヲ支給ス

判任官及同待遇者郡内旅行ノ車馬賃ハ旅費額第二表ニ定ムル額ヲ支給ス

第十三條ノ二 日額旅費ヲ受クヘキ旅行ニシテ其ノ行程陸路鐵道又ハ水路ニ跨ルトキハ鐵道ハ二哩半、水路ハ二海里ヲ以テ陸路一哩ト看做シ計算ス

第十四條 普通旅費ヲ受クヘキ旅行ト日額旅費ヲ受クヘキ旅行ト重複シタル日ハ其ノ普通旅費ヲ受クヘキ旅行ト日額旅費ヲ受クヘキ旅行ニ對シテハ車馬賃鐵道賃船賃ノミヲ支給ス

行ト重複シタル日ハ其ノ普通旅費ヲ受クヘキ旅行ニ對シテハ車馬賃鐵道賃船賃ノミヲ支給ス

郡產業職員ニシテ普通旅費ヲ受クヘキ旅行ト日額旅費ヲ受クヘキ旅行ト重複シタル日ハ其ノ支給額ノ多キ旅行ニ對スル旅費ノミヲ支給ス

第十五條 前各條ニ規定スルモノノ外支給ノ方法ハ内國旅費規則ヲ準用ス

第十六條 (消滅)

第十七條 (消滅)

第十八條 (消滅)

第十九條 宿直及徹夜勤務ノモノニハ左表ノ賭費ヲ支給ス

等	級	宿	直	徹	夜
一	等	金拾貳錢	金拾八錢		
二	等	金拾錢	金拾五錢		

第四章 賭費

第二十二條 (削除)

第二十三條 前各條ニ規定シタル外特別ノ規程ヲ要スルモノハ別ニ之ヲ定ム

附則 (大正九年訓令甲第三十三號附則)

本令ハ大正九年八月一日以降旅行ノ者ヨリ之ヲ施行ス

判任官ノ待遇ヲ受クル者其ノ他縣費支辨ノ吏員職員ニ對スル

第十一條旅費額第一表ニ定ムル月俸ニ付テハ當分ノ内臨時手當ヲ合シタルモノヲ以テ其ノ月俸額ト看做ス

●縣ノ吏員職員休職給ニ關スル件

(大正七年八月三十日訓令甲第三十八號)

- 知事官房 內務部
- 警察部 警察署
- 警察分署 測候所
- 農事試驗場 水産試驗場
- 農事講習所 原蠶種製造所
- 工業試驗場

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

二百九十五

一等賭費ハ給仕使了其他小者ヲ除クモノニ支給ス

第十九條ノ二 三重縣水産試驗場ノ練習生及常備漁夫ニハ其ノ勤務日數ニ應シ一日金貳拾錢ノ賭料ヲ支給ス其ノ支給ノ方法及期日ハ日額ノ例ニ依ル

第二十條 (削除)

第五章 雜則

第二十一條 囚人及刑事被告人ヲ押送スル場合ニ於テ繩取人ヲ雇入ルルトキハ左ノ雇料ヲ給ス但シ陸路一里汽車一哩海

路一海里ニ滿タサル端數ハ切捨計算ス

陸路一里ニ付 金 八 錢

汽車一哩又ハ海路一海里ニ付 金壹錢八厘

押送里程一里ニ及ハサルトキハ一里ガノ雇料ヲ給ス

汽車又ハ船等ニ依リ押送スルトキハ雇料ノ外其ノ實費ヲ支給ス

前項陸路片道一里未滿ノ里程ハ之ヲ一里ニ算シ其一里以上ニ及フトキハ端數ヲ通算シ一里ニ滿タサルモノハ切捨計算ス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

二百九十六
在職最終ノ月俸四月分ニ相當スル額トス

縣ノ吏員職員休職給ニ關スル件左ノ通定ム
縣ノ吏員職員休職給ニ關スル件

縣ノ吏員職員ニシテ明治三十七年四月勅令第百一十一號同三十九年十月勅令第百六十八號同三十九年十二月勅令第三百十三號同四十三年九月勅令第三百四十八號ニ依リ休職ヲ命セテレタル者ノ休職給ハ縣吏員及縣ノ吏員職員休職規程第二條及第五條ノ規定ヲ準用ス

●縣吏員及縣ノ給料給與ヲ受クル吏員職員死亡給與金ニ關スル件

(大正四年一月二十二日)
(告示第二十三號)

大正一三年五月告示第二六四號改正

縣吏員及縣ノ給料給與ヲ受クル吏員職員死亡給與金ニ關スル件縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

第一條 縣吏員及縣ノ給料給與ヲ受クル吏員職員在職中死亡シタルトキハ死亡給與金ヲ其ノ遺族ニ支給ス
第二條 死亡給與金ハ年俸ハ在職最終年俸ノ三分ノ一月俸ハ

●縣費支辨ノ旅行ニシテ内國旅費規則ニ依リ支給スヘキ食卓料ノ件

(明治四十一年十月九日)
(訓令甲第六十八號)

- 郡役所
- 警察署
- 警察分署
- 水産試験場

縣費支辨ニ屬スル旅行ニシテ内國旅費規則第三條第三項ヲ準用シ支給スヘキ食卓料ハ船中ニ於テ宿泊シタル夜數ニ依ル

●縣費ノ外國費ヨリ給料ヲ受クル者ノ縣費旅費額支給方

(大正九年五月四日)
(訓令甲第二十號)

- 郡役所
- 警察署

ヲ受クルモノノ旅費額ハ當分ノ内從前ノ額ヲ支給ス
本令ハ本日ヨリ之ヲ施行ス

●統計講習員講習中旅費額並其ノ支給方法

(明治四十年七月三十日)
(訓令甲第三十三號)

- 郡役所
- 郡立學校
- 測候所
- 農事試驗場
- 水産試験場
- 農事講習所

統計講習員講習中旅費額並其ノ支給ノ方法左ノ通規定ス
第一條 統計講習員滞在中ハ日當金一圓トシ宿泊料ヲ支給セ

●郡視學講習會旅費支給方

(明治三十八年四月十四日)
(訓令甲第十七號)

明治四一年二月訓令甲第一二號改正

二百九十七

縣費ノ外國費ヨリ給料ヲ受クル者之ヲ合シテ月額五拾圓以上ノ者ノ縣費旅費額ハ月俸五拾圓以上ノ額ヲ支給シ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●縣費旅費支給方

(明治四十三年七月一日)
(訓令甲第二十五號)

- 郡役所
- 警察署
- 警察分署
- 測候所
- 農事試驗場
- 水産試験場
- 農事講習所
- 勸業陳列館
- 工業試驗場

官吏ニシテ兼テ縣費ノ支給ヲ受クル職ニアル者及官吏ノ待遇

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

郡役所

給規程

(明治四十二年六月二十五日)
(訓令甲第二十八號)

郡視學講習會旅費ハ左ノ額ヲ支給ス
 一 往復旅費 金拾五圓
 一 滞在旅費 日給金七拾錢
 但シ滞在トハ到着ノ翌日ヨリ出發ノ前日迄ヲ云フ

工業試驗場

三重縣工業試驗場囑託員旅費支給規程左ノ通定ム
 三重縣工業試驗場囑託員旅費支給規程
 第一條 三重縣工業試驗場囑託員ニハ左ノ旅費ヲ支給ス

●三重縣工業試驗場囑託員旅費支

汽車賃	一里	馬賃	一里	日	當日	宿泊料	一夜	汽船賃	一海里	食卓料	一夜
四錢	拾五錢	五錢	拾五錢	壹圓	四圓	九錢	拾錢				

●郡書記郡視學旅費支給規程

(明治四十三年七月一日)
(訓令甲第二十六號)

郡役所

郡書記郡視學ノ旅費規程當分ノ内左ノ通相定メ本日ヨリ之ヲ

第二條 三重縣工業試驗場本場並分場勤務以外ノ囑託員カ出張ヲ要スルトキハ囑託員ノ居住地ヲ基點トシテ前條ノ旅費ヲ支給ス
 第三條 本規程ノ外支給方法ハ三重縣給與規程ニ依ル

施行ス

郡書記郡視學旅費支給規程

第一條 郡書記郡視學ノ旅費ハ別表ニ據リ之ヲ支給ス
 第二條 在勤廳所在地ノ市町村ヲ巡回シ往復二里以上ニ互ルトキハ日當ノ半額ヲ支給シ宿泊シタルトキハ尙ホ宿泊料ヲ支給ス

(別表)

區別	鐵道賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日	食卓料
區分	一里	一海里	二里	一夜	一日	一夜
郡内	三錢	四錢	十五錢	七十錢	三十錢	六十錢
郡外	三錢	四錢	十五錢	七十錢	三十錢	六十錢

第三條 在勤廳ヲ距ル一里未滿ノ市町村及特ニ指定シタル市町村ハ在勤廳所在地ト看做ス

第四條 在勤廳所在地ニ宿泊シタルトキ及ヒ實費ヲ請求スヘキ場合ニハ當該郡長ノ證明ヲ受クヘシ
 第五條 前各條ニ規定スルモノノ外支給ノ方法ハ内國旅費規程ニ據ル但シ移轉料ニ關シテハ此ノ限ニアラス

●郡書記等證人トシテ裁判所へ出張旅費ノ件

(明治十五年五月四日) (乙第九十號)

郡 役 所
戸 長 役 場

刑事豫審公判ニ係リ裁判所ヨリ郡書記又ハ戸長等其ノ職務ニ對シ證人トシテ召喚ノ節該所往復ノ旅費ハ郡書記ハ郡役所費戸長ハ戸長役場費ヨリ支辨シ追テ裁判費用請求候ハハ地方稅雜收入へ納付候儀ト可相心得此旨相達候事

●旅費支給上ニ用ユル里程表

(明治三十三年三月三十日) (訓令甲第三十四號)

明治三十七年六月訓令甲第三七號、四〇年一月同第四四號、四一年五月同第二七號、四二年四月同第二〇號、大正五年六月同第七號、八年七月同第二七號改正

郡 市 役 所 警 察 署
同 分 署 監 獄 支 署
縣 立 學 校 明 野 勸 農 場
水 産 試 驗 場 驅 獸 院
土 木 工 區 出 張 所

明治三十年(十一月)三重縣訓令甲第九十五號旅費支給上ニ用ユル里程別冊ノ通改正シ三十三年四月一日ヨリ施行ス

(別冊)

里 程 表

Table with multiple columns and rows, containing detailed travel distance data. The text is very faint and difficult to read, but it appears to be a structured list of distances between various locations.

凡例

- 一 本表ニ明記ナキ場所ノ里程ハ差引計算スルモノトス假令ハ度會郡小俣村ヨリ一志郡久居町迄ノ里程ヲ得ントセハ縣廳小俣間九里七丁ノ内縣廳松阪間四里十九丁ヲ減シ之ニ松阪久居間三里十八丁ヲ加ヘ八里六丁ト算出スルカ如シ
- 一 津市及四日市市ハ縣下樞要地間ノ里程表中ニ掲載アリ
- 一 本表ニ登載ナキ管外ノ里程ハ郵便線路圖ニ依ルモノトス
- 一 汽車哩數ハ官報ニ依ルモノトス

○縣下樞要地間ノ里程

桑名	田山	大山	海藏	四日市	龜山	白子	津	新町	久居	松阪	相可	山字	鳥羽	上野	名張	尾鷲	木本
大山	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
田山	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
海藏	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
四日市	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
龜山	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
白子	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
津	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
新町	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
久居	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
松阪	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
相可	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
山字	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
鳥羽	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
上野	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
名張	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
尾鷲	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁
木本	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁	三、三三丁

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
桑名町	二二、三八	
赤須賀村	二三、〇一	
城南村	二一、三三	三重郡朝日村 〇、三三
桑部村	二一、三三	員辨郡久米村 〇、三三
在良村	二二、一〇	員辨郡七和村 〇、三三
益生村	二二、〇一	同郡久米村 一、〇七
大山田村	二二、一五	
深谷村	二四、〇三	
野代村	二五、一七	岐阜縣海津郡 大江村 一、三三
古濱村	二六、〇二	員辨郡七和村 一、三三
古美村	二七、〇〇	員辨郡大泉原 村 一、三三
多度村	二五、三三	

○桑名郡

七取村	二六、三三	岐阜縣海津郡 西江村 一、一四	同郡大江村 一、〇〇	
楠村	二四、一九	愛知縣海西郡 立和村 二、三〇	岐阜縣海津郡 大江村 一、三三	
長島村	二三、一一	愛知縣海西郡 彌富村 一、一七		
木曾岬村	二四、〇六	愛知縣海西郡 兩國村 〇、三三	同郡大藤村 〇、三三	同郡彌富村 一、三三
伊曾島村	二三、〇九			

桑名	賀	赤須	城南	桑部	在良	益生	深谷	野代	古濱	古美	多度	七取	楠	長島	木曾	伊曾
大山田	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
桑名	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
賀	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
赤須	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
城南	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
桑部	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
在良	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
益生	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
深谷	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
野代	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
古濱	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
古美	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
多度	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
七取	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
楠	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
長島	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
木曾	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇
伊曾	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇	〇,二〇

〇員辨郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
久米村	一三,七	桑名郡桑部村 同郡在良村 三重郡下野村
大長村	一三,三	三重郡保々村 同郡下野村
梅戸井村	一三,三	三重郡朝上村 同郡保々村
三里村	一四,三〇	
南石加村	一五,一八	三重郡朝上村
北石加村	一五,二二	
丹生川村	一五,二二	
治田村	一六,一三	
東藤原村	一六,二九	
西藤原村	一七,一八	
白瀬村	一七,三三	
立田村	一九,二二	岐阜縣養老郡 時村
中里村	一七,二九	

十社村	一八、〇〇	岐阜縣海津郡 城山村(三、〇〇)
阿下喜村	一六、一一	
山郷村	一六、〇二	
笠田村	一四、三三	
大泉原村	一四、二二	桑名郡古美村
大泉村	一四、〇五	
稻部村	一三、三〇	
神田村	一四、二二	桑名郡古濱村
七和村	一三、〇九	桑名郡在良村 同郡古濱村(一、二七)

大泉原

大泉原	〇、〇〇	大泉	〇、〇〇	神田	〇、〇〇	七和	〇、〇〇	久米	〇、〇〇	大長	〇、〇〇	梅戸	〇、〇〇	三里	〇、〇〇	南石	〇、〇〇	北石	〇、〇〇	丹生	〇、〇〇	治田	〇、〇〇	東藤原	〇、〇〇	西藤原	〇、〇〇	白瀬	〇、〇〇	立田	〇、〇〇	中里	〇、〇〇	十社	〇、〇〇	阿下喜	〇、〇〇	山郷	〇、〇〇	笠田	〇、〇〇
大泉	〇、〇〇	大泉	〇、〇〇	神田	〇、〇〇	七和	〇、〇〇	久米	〇、〇〇	大長	〇、〇〇	梅戸	〇、〇〇	三里	〇、〇〇	南石	〇、〇〇	北石	〇、〇〇	丹生	〇、〇〇	治田	〇、〇〇	東藤原	〇、〇〇	西藤原	〇、〇〇	白瀬	〇、〇〇	立田	〇、〇〇	中里	〇、〇〇	十社	〇、〇〇	阿下喜	〇、〇〇	山郷	〇、〇〇	笠田	〇、〇〇

四		日		市		市	
鹽濱村	1,111	楸村	1,345	川越村	11,022	朝上村	0,112
河原田村	1,311	河原田村	1,311	富田村	1,022	竹永村	3,111
日永村	1,011	日永村	1,011			保々村	3,312
内部村	11,011	内部村	11,011			八郷村	3,012
小山田村	2,111	小山田村	2,111			大矢知村	4,012
水澤村	2,112	水澤村	2,112			朝日村	11,110
四郷村	1,112	四郷村	1,112			富洲原村	1,112
川島村	1,111	川島村	1,111			羽津村	0,111
						下野村	11,112

〇三 三重郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
鹽濱村	七、〇〇	四日市市ハ、二
楸村	六、二五	河藝郡一ノ宮村ハ、〇、〇〇
河原田村	六、三三	河藝郡一ノ宮村ハ、〇、〇〇
日永村	七、二五	同郡神戸村ハ、一、〇〇
内部村	七、三五	鈴鹿郡久間田村ハ、一、二〇
小山田村	九、〇九	鈴鹿郡久間田村ハ、一、〇〇
水澤村	一〇、一七	鈴鹿郡椿村ハ、〇、一五
四郷村	八、二七	滋賀縣甲賀郡貼川村ハ、五、〇一
川島村	八、三四	
常盤村	九、三三	四日市市ハ、〇、一五
櫻村	一一、一三	
菰野村	三、一三	滋賀縣甲賀郡大河原村ハ、五、一三
鵜川原村	二、二二	

千種村	12,300	滋賀縣蒲生郡市原村(四、三五)					
縣村	10,300						
神前村	10,100						
三重村	9,200						
海藏村	9,000	四日市市(一、〇三)					
朝上村	14,100	員辨郡梅戸井村(一、二五)	同郡南石加村(一、〇三)	滋賀縣神崎郡杜葉尾村(三、二六)			
竹永村	13,100						
保々村	12,000	員辨郡大長村(〇、三三)	同郡梅戸井村(一、一八)				
八郷村	11,000	員辨郡久米村(一、〇一)					
大矢知村	10,200						
朝日村	11,000	桑名郡桑部村(一、〇〇)	同郡城南村(〇、三三)				
富洲原村	10,100						
羽津村	9,200	四日市市(〇、二七)					
下野村	11,100	員辨郡大長村(一、〇一)	同郡久米村(一、〇八)				
川越村	11,100	桑名郡城南村(一、二二)					
富田村	10,000						

種縣村 神前 三重 海藏 朝上 竹永 保々 八郷 大矢知 朝日 富洲 羽津 下野 川越 富田
 〇三、一八 二、八二 二、三三 一、三三 六、〇〇 五、〇九 〇、三三 二、二二 三、〇〇 三、三三 二、〇五 四、〇八 三、二一
 一〇、〇六 三、〇六 三、〇一 二、〇七 六、三三 五、三三 五、二四 四、〇九 三、〇〇 四、〇八 三、七二 三、五〇 三、〇四
 一四、一一 二、一一 二、一六 二、〇八 五、三三 五、〇一 四、二九 四、一〇 三、一一 四、〇五 三、一八 二、三三 四、〇一 三、〇四
 七、二二 一、一八 一、三三 一、五五 五、〇六 四、〇〇 三、一七 三、一〇 三、二二 三、二二 一、三三 三、〇三 三、二二 一、一
 〇、三三 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二
 〇、三三 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二
 一、一〇 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二 二、二二



第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

千種村	10,200	滋賀縣蒲生郡市原村(四、五)						
縣村	10,300							
神前村	10,100							
三重村	9,200							
海藏村	9,000	四日市市(一、二、三)						
朝上村	14,100	員辨郡梅戸井村(一、二、三、四、五)						
竹永村	13,200	同郡南石加村(一、二、三)						
保々村	13,000	同郡梅戸井村(一、二、三、四、五)						
八郷村	11,000	員辨郡久米村(一、二、三、四、五)						
大矢知村	10,100							
朝日村	11,000	桑名郡桑部村(一、二、三、四、五)						
富洲原村	10,100	同郡城南村(一、二、三、四、五)						
羽津村	9,200	四日市市(一、二、三、四、五)						
下野村	11,100	員辨郡大長村(一、二、三、四、五)						
川越村	11,000	桑名郡城南村(一、二、三、四、五)						
富田村	10,000							

富田 0,000
 川越 0,000
 下野 0,000
 羽津 0,000
 原富洲 0,000
 朝日 0,000
 知大矢 0,000
 八郷 0,000
 保々 0,000
 竹永 0,000
 朝上 0,000
 海藏 0,000
 三重 0,000
 神前 0,000
 縣村 0,000
 千種 0,000
 原輪川 0,000
 菰野 0,000
 櫻村 0,000
 常磐 0,000
 川島 0,000
 四郷 0,000
 水澤 0,000
 小山 0,000
 内部 0,000
 日永 0,000
 田河原 0,000
 楠村 0,000
 富田 0,000
 川越 0,000
 下野 0,000
 羽津 0,000
 原富洲 0,000
 朝日 0,000
 知大矢 0,000
 八郷 0,000
 保々 0,000
 竹永 0,000
 朝上 0,000
 海藏 0,000
 三重 0,000
 神前 0,000
 縣村 0,000
 千種 0,000
 原輪川 0,000
 菰野 0,000
 櫻村 0,000
 常磐 0,000
 川島 0,000
 四郷 0,000
 水澤 0,000
 小山 0,000
 内部 0,000
 日永 0,000
 田河原 0,000
 楠村 0,000
 富田 0,000

○ 鈴鹿郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
加太村	八、〇一	阿山郡東栢楠村ハ二、六六
坂下村	七、三三	滋賀縣甲賀郡山内村ハ一、二四
關町	六、〇一	河藝郡明村ハ一、〇七
神邊村	六、三三	河藝郡明村ハ一、〇六
龜山町	七、二四	
野登村	八、一〇	滋賀縣甲賀郡山内村ハ三、二三
川崎村	九、二二	
庄内村	一〇、二八	
深伊澤村	一〇、三五	
椿村	一三、一五	三重郡水澤村ハ〇、三五
椴尾村	八、〇六	河藝郡椴本村ハ一、二七
井田川村	八、三二	同郡明村ハ一、二四
庄野村	九、三五	

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

白川村	七、七	滋賀縣甲賀郡山内村 ^{一、五}	同郡内部村 ^{一、五}	同郡小山田村 ^{一、〇}				
久間田村	八、三	河藝郡河曲村 ^{一、五}	三重郡内部村 ^{一、五}					
石薬師村	七、三	河藝郡河曲村 ^{一、七}						
牧田村	七、三	河藝郡飯野村 ^{一、七}	同郡河曲村 ^{一、七}					
高津瀬村	一〇、七							
國府村	六、〇	河藝郡合川村 ^{一、六}	同郡天名村 ^{一、〇}	同郡稻生村 ^{一、〇}	同郡飯野村 ^{一、六}			
豊生村	四、〇	河藝郡合川村 ^{一、五}	同郡高野尾村 ^{一、〇}	同郡大里村 ^{一、三}				

龜山

神邊	二、三	加太	二、三	坂下	二、三	關	二、〇	白川	一、〇	野登	一、二	川崎	一、七	庄内	一、〇	深伊	二、〇	澤	一、八	椿	二、五	久間	〇、七	石薬師	〇、五	牧田	〇、六	高津瀬	〇、八	庄野	〇、六	川井田	〇、五	國府	〇、五	豐生	一、五	橫尾	〇、四	神邊	二、三	
	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
白子町	四、〇七	
稻生村	三、三〇	鈴鹿郡國府村 二、〇七
天名村	四、一〇	鈴鹿郡國府村 二、〇五
合川村	四、三〇	鈴鹿郡國府村 一、二六
榮村	三、一一	鈴鹿郡壹生村 〇、二五
上野村	二、一四	
豐津村	二、〇五	
黒田村	二、一八	
白塚村	一、〇九	
栗真村	一、〇七	津市 一、一〇
一身田村	一、一三	安濃郡安濃村 一、〇九
大里村	二、二三	鈴鹿郡壹生村 一、三三
高野尾村	三、〇五	鈴鹿郡壹生村 一、三〇
		同郡安東村 一、〇六
		同郡安濃村 一、〇一
		同郡安西村 〇、三〇
		津市 一、一三
		津市 一、一三
		同郡安濃村 〇、三〇

○河藝郡

椋本村	四、〇七	鈴鹿郡横尾村 一、一七	安濃郡雲林院 〇、三〇	同郡安西村 〇、一一	同郡横尾村 一、二四	安濃郡河内村 二、一六
明村	四、三〇	鈴鹿郡加太村 三、〇二	同郡關町 一、〇九	同郡神邊村 一、〇九	同郡横尾村 一、二四	同郡雲林院村 〇、二九
神戸町	五、三三	三重郡河原田 村 一、〇六	同郡國府村 一、一六			
飯野村	六、一九	鈴鹿郡牧田村 〇、七	同郡國府村 一、一六			
河曲村	六、三三	三重郡内郡村 一、〇一	鈴鹿郡久間田 村 一、一五	同郡石薬師村 一、〇七	同郡牧田村 一、〇九	
一ノ宮村	六、三三	三重郡楠村 〇、三〇	同郡河原田村 一、〇六			
箕田村	六、〇九					
玉垣村	五、〇九					
若松村	五、〇八					

白子	稻生	天名	合川	榮	上野	豐津	黒田	白塚	栗真	田	大里	高野	尾	椋本	明	神戸	飯野	河曲	宮	箕田	玉垣	若松
一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇	一、〇二、〇〇〇

明治四十二年四月訓甲第二〇號ニテ本表中削除

○安濃郡

町村名	縣廳迄	他都市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
新町	〇、一、九	津市
神戸村	〇、三	一志郡本村
藤水村	一、〇、五	一志郡本村
安東村	一、一、三	河藝郡一身田
安濃村	二、三	河藝郡高野尾
村主村	二、一、九	同郡大里村
明合村	三、一、九	同郡一身田村
安西村	三、三、四	河藝郡椋本村
雲林院村	四、三	河藝郡明村
河内村	六、〇、九	河藝郡明村
長野村	五、三	阿山郡阿波村
草生村	三、三	一志郡榑原村

〇一志郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
久居町	二、〇〇	
戸木村	二、三三	安濃郡片田村 同郡神戸村
七栗村	三、二一	安濃郡片田村 同郡片田村
稻葉村	三、〇二	安濃郡高宮村 同郡片田村
榑原村	五、〇四	安濃郡高宮村 同郡長野村
大三村	五、一五	同郡長野村 阿山郡布引村
倭村	六、一五	名賀郡上津村
八ツ山村	六、三三	名賀郡矢持村
川口村	六、一一	名賀郡矢持村
家城村	七、二四	名賀郡矢持村
境村	八、二五	名賀郡矢持村
竹原村	八、二四	名賀郡矢持村
八知村	一〇、二四	名賀郡矢持村 同郡種生村

大耶生村	二、三二	名賀郡國津村 同郡種生村	奈良縣宇陀郡 曾爾村	同縣同郡御杖 村	同縣同郡菅野村
伊勢地村	二、二九	奈良縣宇陀郡 御杖村			
八幡村	二、三九				
多氣村	一〇、〇三	飯南郡宮前村 同郡柿野村			
下ノ川村	八、〇五				
宇氣郷村	八、二五	飯南郡大河内 村			
中郷村	五、一八	飯南郡伊勢寺 村			
波瀨村	五、一〇				
大井村	四、二二				
高岡村	三、〇八				
川合村	三、〇二				
中川村	三、二三				
豐地村	四、〇二				
阿坂村	五、〇四	飯南郡伊勢寺 村			
中原村	四、一一				

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

米ノ庄村	三、二五	飯南郡松江村 〇、二四				
松ヶ崎村	三、二二	飯南郡港村 〇、三三				
天白村	二、三三					
豊田村	二、一〇					
小野江村	二、〇二					
鷓村	二、三三					
矢野村	二、二六					
雲出村	二、〇三					
高茶屋村	一、一九	安濃郡藤水村 〇、二四				
桃園村	二、二八					
本村	二、〇七	安濃郡藤水村 一、五〇	同郡神戸村 一、三三			

○飯南郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
松阪町	四、一九	
港村	五、〇六	一志郡松ヶ崎村ハ〇、三三
鈴止村	五、〇一	
神戸村	五、〇六	
花岡村	五、〇四	
松尾村	六、〇四	
松江村	四、三四	一志郡米ノ庄村ハ〇、二四
伊勢寺村	五、三三	一志郡阿坂村ハ〇、二九 同郡宇氣郷村ハ三、三三 同郡中郷村ハ二、三三
大河内村	七、三三	一志郡宇氣郷村ハ三、三三
茅廣江村	八、二六	多氣郡五ヶ谷村ハ一、三三 同郡津田村ハ一、三三 同郡丹生村ハ二、二九
大石村	九、〇〇	多氣郡五ヶ谷村ハ〇、三三
柿野村	二、〇三	一志郡多氣村ハ三、三三
彌見村	二、〇七	多氣郡五ヶ谷村ハ二、〇九 同郡三瀬谷村ハ二、二五

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

5 6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 1

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

三百三十一

宮前村	三三三	一志郡多氣村	多氣郡萩原村	三三三
川俣村	一四三	多氣郡萩原村	奈良縣宇陀郡御杖村	四三三
森村	一八二	多氣郡萩原村	同縣吉野郡高見村	四〇九
波瀨村	一八三	奈良縣宇陀郡御杖村	同郡津田村	〇〇九
射和村	七三三	多氣郡相可村	同郡津田村	〇〇九
神山村	六三三	多氣郡相可村		
柳田村	六二四			
朝見村	五二四			
西黒部村	六〇三	多氣郡東黒部村		
機殿村	六二七	多氣郡東黒部村	同郡下御絲村	一〇〇
清代村	六三三	多氣郡相可村	同郡齊宮村	〇三三
			同郡上御絲村	〇三三

松阪	〇三三	港	〇三三	鈴止	〇三三	神戶	〇三三	花岡	〇三三	松尾	〇三三	松江	〇三三	寺伊勢	〇三三	内大河	〇三三	江茅廣	〇三三	大石	〇三三	柿野	〇三三	朝見	〇三三	宮前	〇三三	川俣	〇三三	森	〇三三	波瀨	〇三三	射和	〇三三	神山	〇三三	柳田	〇三三	朝見	〇三三	西黒部	〇三三	機殿	〇三三	清代	〇三三
松阪	〇三三	港	〇三三	鈴止	〇三三	神戶	〇三三	花岡	〇三三	松尾	〇三三	松江	〇三三	寺伊勢	〇三三	内大河	〇三三	江茅廣	〇三三	大石	〇三三	柿野	〇三三	朝見	〇三三	宮前	〇三三	川俣	〇三三	森	〇三三	波瀨	〇三三	射和	〇三三	神山	〇三三	柳田	〇三三	朝見	〇三三	西黒部	〇三三	機殿	〇三三	清代	〇三三

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

三百三十一

○多氣郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄	
東黒部村	六、一九	飯南郡機殿村 〇、二五	同郡西黒部村 〇、一六
下御絲村	六、二三	飯南郡機殿村 〇、〇〇	
大淀村	七、一三	度會郡北濱村 〇、〇六	
上御絲村	七、〇七	飯南郡機殿村 〇、二四	
明星村	七、三〇	度會郡北濱村 一、一七	同郡小俣村 一、〇三
齋宮村	七、〇九	飯南郡漕代村 〇、三三	同郡有田村 一、〇六
相可村	七、〇八	飯南郡射和村 〇、二九	同郡神山村 〇、一九
西外城田村	八、二三	度會郡東外城 田村 〇、三三	同郡漕代村 一、二四
佐奈村	七、三四		同郡田丸町 一、二五
津田村	七、三三	飯南郡射和村 〇、〇〇	
丹生村	八、〇六	飯南郡茅廣江 村 一、元	同郡茅廣江村 一、三三
五ヶ谷村	九、二二	飯南郡彌見村 二、〇元	同郡大石村 〇、三三
川添村	一〇、二三	度會郡七保村 〇、三三	同郡茅廣江村 一、三三
		同郡中川村 一、三三	

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

大杉	三、二	領内	三、二	萩原	二、二	三瀨	三、七	川添	二、六	谷五ヶ	一、三	丹生	一、〇	津田	一、五	佐奈	〇、三	城西	一、三	相可	二、二	齊宮	〇、三	明星	一、七	大淀	一、〇	大淀	一、〇	大淀	二、〇	下御	一、〇	上御	一、〇	東黒部	二、〇
谷	三、二	領内	三、二	萩原	二、二	三瀨	三、七	川添	二、六	谷五ヶ	一、三	丹生	一、〇	津田	一、五	佐奈	〇、三	城西	一、三	相可	二、二	齊宮	〇、三	明星	一、七	大淀	一、〇	大淀	一、〇	大淀	二、〇	下御	一、〇	上御	一、〇	東黒部	二、〇
谷	三、二	領内	三、二	萩原	二、二	三瀨	三、七	川添	二、六	谷五ヶ	一、三	丹生	一、〇	津田	一、五	佐奈	〇、三	城西	一、三	相可	二、二	齊宮	〇、三	明星	一、七	大淀	一、〇	大淀	一、〇	大淀	二、〇	下御	一、〇	上御	一、〇	東黒部	二、〇
谷	三、二	領内	三、二	萩原	二、二	三瀨	三、七	川添	二、六	谷五ヶ	一、三	丹生	一、〇	津田	一、五	佐奈	〇、三	城西	一、三	相可	二、二	齊宮	〇、三	明星	一、七	大淀	一、〇	大淀	一、〇	大淀	二、〇	下御	一、〇	上御	一、〇	東黒部	二、〇
谷	三、二	領内	三、二	萩原	二、二	三瀨	三、七	川添	二、六	谷五ヶ	一、三	丹生	一、〇	津田	一、五	佐奈	〇、三	城西	一、三	相可	二、二	齊宮	〇、三	明星	一、七	大淀	一、〇	大淀	一、〇	大淀	二、〇	下御	一、〇	上御	一、〇	東黒部	二、〇
谷	三、二	領内	三、二	萩原	二、二	三瀨	三、七	川添	二、六	谷五ヶ	一、三	丹生	一、〇	津田	一、五	佐奈	〇、三	城西	一、三	相可	二、二	齊宮	〇、三	明星	一、七	大淀	一、〇	大淀	一、〇	大淀	二、〇	下御	一、〇	上御	一、〇	東黒部	二、〇

大杉谷村	二〇、七	北牟婁郡赤羽村	四、八	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七
領内村	一七、一六	飯南郡川俣村	四、二	飯南郡川俣村	四、二	飯南郡川俣村	四、二	飯南郡川俣村	四、二
萩原村	一五、一五	飯南郡宮前村	三、二	飯南郡宮前村	三、二	飯南郡宮前村	三、二	飯南郡宮前村	三、二
三瀨谷村	一三、〇四	飯南郡見村	二、五	飯南郡見村	二、五	飯南郡見村	二、五	飯南郡見村	二、五
度會郡瀧原村		飯南郡瀧原村	三、三	飯南郡瀧原村	三、三	飯南郡瀧原村	三、三	飯南郡瀧原村	三、三
度會郡柏崎村		飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七
飯南郡赤羽村		飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七
飯南郡赤羽村		飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七
飯南郡赤羽村		飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七
飯南郡赤羽村		飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七	飯南郡赤羽村	三、七

○ 度 會 郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
宇治山田町	10,08	志摩郡磯部村 5,15
神社町	11,04	
大湊町	11,00	
田丸町	9,18	多氣郡齋宮村 1,3
宮本村	10,16	同郡西外城田 1,5
沼木村	11,31	
四郷村	10,17	志摩郡鳥羽町 2,6
二見町	11,33	志摩郡鳥羽町 1,6
淡郷村	10,13	
御蘭村	10,09	
豐濱村	9,11	
北濱村	9,03	多氣郡明星村 1,7
小俣村	9,07	多氣郡明星村 1,3
		同郡大淀村 0,26
		同郡齋宮村 1,31

有田村	8,2	多氣郡明星村 1,6	同郡齋宮村 1,3
東外城田村	9,3	多氣郡西外城 田村 0,3	
城田村	9,2		
下外城田村	9,29		
内城田村	11,31		
中川村	10,3	多氣郡西外城 田村 1,5	同郡川添村 1,3
七保村	11,9	多氣郡川添村 0,3	
瀧原村	14,1	多氣郡三瀨谷 村 1,3	
柏崎村	17,0	多氣郡荻原村 3,7	北牟婁郡錦村 4,3
大内山村	18,6	北牟婁郡二郷 村 3,7	
島津村	25,6	北牟婁郡錦村 4,3	
吉津村	23,2		
鵜倉村	20,5		
中島村	19,18		
一之瀬村	17,00		

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

小川郷村	二四、二八					
穂原村	一七、一〇					
南海村	二〇、一五					
五ヶ所村	一七、一八					
宿田會村	三、〇六	志摩郡濱島村 二、二六				
神原村	一八、〇四	志摩郡磯部村 二、〇〇	同郡濱島村 二、三三			

宿田 會
神原 二七

○阿山郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄		
上野町	三、〇〇			
小田村	三、一〇			
城南村	三、一一	名賀郡依那古村ハ一、二五	同郡猪田村ハ一、一〇	
花之木村	一、〇〇	名賀郡猪田村ハ一、〇五	同郡花垣村ハ一、一〇	
長田村	三、三三			
島ヶ原村	一、五〇	名賀郡花垣村ハ三、二二	京都府相樂郡大羅尾村ハ一、二五	
丸柱村	一、五〇	滋賀縣甲賀郡長野村ハ三、二五		
新居村	一、〇〇	滋賀縣甲賀郡多羅尾村ハ二、〇五		
三田村	三、三三			
府中村	三、三三			
中ノ瀬村	二、二二			
河合村	三、三三			
玉瀧村	三、三三	滋賀縣甲賀郡長野村ハ三、三三	同郡南柚村ハ一、三三	同郡龍池村ハ一、一五
				同郡宮村ハ〇、三三

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

輻田村	二、二五	滋賀縣甲賀郡油日村(一、二五)	同郡宮村(一、二)	
東柘植村	一〇、一一	鈴鹿郡加太村(二、二六)	滋賀縣甲賀郡油日村(一、二六)	
西柘植村	二、一六			
壬生野村	三、〇三			
山田村	一〇、七			
布引村	一〇、一五	名賀郡上津村(一、三)	志那榑原村(四、三)	
阿波村	八、〇	安濃郡長野村(二、三〇)		
友生村	二、二六	名賀郡上津村(二、三)	同郡比自坂村(一、〇)	同郡依那古村(一、〇)

上野

小田	〇、三〇	小田城南	〇、三〇	木花ノ	〇、三〇	長田	一、〇	原島ケ	三、七	丸柱	二、〇	新居	〇、三	三田	〇、三	府中	〇、三	瀬中ノ	〇、三	河合	一、三	玉瀧	一、三	輻田	一、〇	東柘植	一、〇	西柘植	一、〇	壬生野	一、〇	山田	一、〇	布引	一、〇	阿波	一、〇	友生	一、〇
〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇	〇、三〇			

明治三十七年(六月)訓令甲第三十七號
ニテ本表中改正

○名賀郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
名張町	一四、三三	
錦生村	一五、二四	奈良縣宇陀郡三本松村ハ一、二三
瀧川村	一六、〇八	同縣山邊郡東里村ハ二、〇五
箕曲村	一五、二〇	奈良縣宇陀郡曾爾村ハ三、〇六
比奈知村	一四、〇八	
國津村	一五、三三	奈良縣宇陀郡曾爾村ハ二、三〇
藏持村	一三、三三	
薦原村	一三、二六	奈良縣山邊郡豐原村ハ三、〇〇
種生村	一三、一一	同郡波多野村ハ二、二六
矢持村	一三、一一	同郡太郎生村ハ三、三三
阿保村	一一、二七	同郡八知村ハ三、二四
上津村	一〇、一一	同郡友生村ハ二、三三
比自岐村	一一、二八	同郡八ツ山村ハ四、二二
		同郡倭村ハ四、〇〇

美濃波多村	一一、一九	
神戸村	一三、〇一	
依那古村	一三、〇九	阿山郡友生村ハ一、〇九
猪田村	一三、三三	同郡城南村ハ一、二七
古山村	一三、三三	同郡城南村ハ一、四〇
花垣村	一四、二二	阿山郡花ノ木村ハ一、二〇
		奈良縣廣瀨村ハ一、〇〇
		同縣尾山村ハ一、〇〇
		阿山郡島ヶ原村ハ三、二二

名張	錦生	瀧川	箕曲	知比奈	國津	藏持	薦原	種生	矢持	阿保	上津	岐比自	美濃	神戶	依那	猪田	古山	花垣
錦生	一、〇三三	一、〇三三	一、〇二八	二、一九	三、一四	〇、〇七	一、二二	四、〇〇	五、〇二	三、〇五	四、一一	四、〇八	三、〇三	三、〇〇	四、一三	四、二二	三、〇五	四、〇三
瀧川	〇、〇二七	二、二二	三、三六	二、三三	三、三六	一、三三	二、三三	五、〇四	二、〇四	四、〇七	五、一三	五、一〇	三、〇二	四、〇六	五、一五	五、三三	四、〇七	五、〇五
箕曲	一、〇一	三、一〇	三、〇六	二、〇五	一、二五	二、二九	三、〇七	五、二四	六、二四	四、三三	五、三三	五、三〇	三、二五	四、三六	五、四五	六、〇九	四、二七	五、二五
知比奈	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
國津	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
藏持	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三
薦原	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇
種生	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
矢持	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
阿保	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五
上津	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
岐比自	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七	一、一七
美濃	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六	二、〇六
神戶	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
依那	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
猪田	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇
古山	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八
花垣	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇

○ 志摩郡

町村名	縣廳迄	他都市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
鳥羽町	一四、一三	度會郡宇治山田町ハ四、〇五
桃取村	一四、一五	同郡四郷村ハ二、二六
答志村	一四、一八	同郡東二見村
神島村	一四、一五	
菅島村	一四、一〇	
坂手村	一四、一五	
加茂村	一五、二七	
鏡浦村	一六、〇五	
長岡村	一八、一四	
的矢村	一九、一六	
安乘村	二〇、〇一	
國府村	一八、二二	
磯部村	二五、二三	度會郡宇治山田町ハ五、一五 同郡神原村ハ二、〇一

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

三百四十八

鵜方村	七、二																			
神明村	一八、〇三																			
立神村	一八、三〇																			
甲賀村	一九、二四																			
志島村	一九、一三																			
畔名村	一九、〇五																			
名田村	一九、〇七																			
波切村	一九、三五																			
船越村	二〇、〇四																			
片田村	二〇、〇一																			
布施田村	二二、二																			
和具村	二三、〇五																			
越賀村	二三、三																			
御座村	二三、二八																			
濱島村	二九、三五	度會郡宿田會 村へ 二、二八	同郡神原村へ 二、三五																	

本表中黒點ヲ付シタル分ハ海上里數ヲ陸路里數ニ換算シタルモノニシテ之ニ左側ノ陸路里數ヲ合算シ總距離ヲ得ルモノトス

○ 本 表

三三 新 選 考 及 備 考

三百四十九

(Faint table with multiple columns and rows, likely a continuation of the financial data or a detailed ledger.)

鳥羽	桃取	沓志	神島	普島	坂手	加茂	鏡浦	長岡	的矢	安楽	磯部	島方	神明	立神	甲賀	志島	時名	名田	波切	船越	片田	布施	和具	越賀	御座	濱島	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

本表申出點子付シタル分ハ海上里數子陸路里數ニ換算シタルモノニシテ之ニ左側ノ陸路里數子合算シ陸路離チ得ルモノトス

濱島村	御座村	越賀村	和具村	布施田村	片田村	船越村	波切村	名田村	時名村	志島村	甲賀村	立神村	神明村	島方村	磯部村	安楽村	的矢村	長岡村	鏡浦村	加茂村	坂手村	普島村	神島村	沓志村	桃取村	鳥羽村
2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3

6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9

○北牟婁郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄	
錦村	二、三五	度會郡柏崎村 ハ同郡島津村	四、三二
二郷村	二、三三	度會郡大内山村 ハ多氣郡大杉谷村	四、〇六
赤羽村	三、一八	多氣郡大杉谷村	四、〇六
長島町	三、〇五		
三野瀬村	三、〇六		
船津村	三、三三	多氣郡大杉谷村	六、〇九
相賀村	二、六三		
引本町	二、六三		
桂城村	二、七〇		
須賀利村	二、八五		
尾鷲町	二、八四	南牟婁郡飛鳥村	八、二二
九鬼村	三、一五	同郡北輪内村 ハ奈良縣吉野郡上北山村	七、二八

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

三百五十二

二郷	赤羽	長島	三野瀬	船津	相賀	引本	桂城	須賀利	尾鷲	九鬼
二郷	赤羽	長島	三野瀬	船津	相賀	引本	桂城	須賀利	尾鷲	九鬼
2,110	4,055	2,268	3,290	6,180	7,190	7,310	7,330	8,280	9,110	13,011
1,111	0,008	1,000	3,300	4,350	5,000	5,000	5,030	6,000	6,070	10,118
1,300	2,331	5,000	6,230	6,330	6,250	7,300	7,300	8,130	11,000	
10,110	3,260	4,270	4,280	4,330	6,000	6,000	6,190	6,190	10,110	
2,250	3,260	3,260	3,300	4,350	5,280	5,280	6,190	6,190	9,000	
1,011	3,260	3,260	3,300	4,350	5,280	5,280	6,190	6,190	9,000	
0,118	2,270	1,230	2,270	2,270	2,270	2,270	2,270	2,270	2,270	
2,000	1,000	2,110	2,110	2,110	2,110	2,110	2,110	2,110	2,110	
1,050	4,190	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	
3,280	7,000	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	
3,700	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	

○南牟婁郡

町村名	縣廳迄	他郡市又ハ他縣ニ係ル隣接町村迄
木本町	4,000	
北輪内村	3,310	北牟婁郡尾鷲町ノ 11,110
南輪内郡	3,600	同郡九鬼村ノ 1,011
荒坂村	3,600	
新鹿村	3,700	
泊村	3,900	
有井村	4,100	
神志山村	4,300	
市木村	4,500	
阿田和村	4,700	
井田村	4,800	
鶴殿村	5,000	
御船村	5,200	和歌山縣東牟婁郡新宮町ノ 0,250

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十三款 俸給旅費及諸給

三百五十三

飛鳥村	三、三、五	北牟婁郡尾鷲町							
五郷村	三、九、二、七								
神川村	四、一、三	和歌山縣東牟婁郡北山村							
西山村	四、三、二								
上川村	五、一、六	和歌山縣東牟婁郡九重村	同郡三津野村						
入鹿村	四、六、一、五								
尾呂志村	四、六、〇、六								
相野谷村	四、九、二、二								

有井山	三、〇、三、〇	有井山	三、〇、三、〇
市木	三、〇、三、〇	市木	三、〇、三、〇
阿田	三、〇、三、〇	阿田	三、〇、三、〇
井田	三、〇、三、〇	井田	三、〇、三、〇
鵜殿	三、〇、三、〇	鵜殿	三、〇、三、〇
御船	三、〇、三、〇	御船	三、〇、三、〇
相野	三、〇、三、〇	相野	三、〇、三、〇
尾呂	三、〇、三、〇	尾呂	三、〇、三、〇
入鹿	三、〇、三、〇	入鹿	三、〇、三、〇
上川	三、〇、三、〇	上川	三、〇、三、〇
西山	三、〇、三、〇	西山	三、〇、三、〇
神川	三、〇、三、〇	神川	三、〇、三、〇
五郷	三、〇、三、〇	五郷	三、〇、三、〇
飛鳥	三、〇、三、〇	飛鳥	三、〇、三、〇
泊	三、〇、三、〇	泊	三、〇、三、〇
新鹿	三、〇、三、〇	新鹿	三、〇、三、〇
荒坂	三、〇、三、〇	荒坂	三、〇、三、〇
南輪	三、〇、三、〇	南輪	三、〇、三、〇
北輪	三、〇、三、〇	北輪	三、〇、三、〇

第十四款 退隱料、扶助

料

●縣吏員職員退隱料退職給與金遺族扶助料支給規則

(大正十二年九月二十二日)
縣令第四十號

縣吏員職員退隱料退職給與金遺族扶助料支給規則左ノ通定

第一章 總則

第一條

本則ニ於テ縣吏員トハ府縣制第七十五條ノ規定ニ依ル者ヲ謂ヒ職員トハ縣ノ給料給與ヲ受クル職員ニシテ恩給法ノ適用ヲ受ケサル者ヲ謂フ

前項ノ吏員職員ノ種別ハ細則ヲ以テ知事之ヲ定ム

第二條 縣吏員職員及其ノ遺族ハ本則ノ定ムル所ニ依リ退隱

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退隱料、扶助料

料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

退隱料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ハ知事之ヲ裁定ス

第三條 退隱料トハ普通退隱料及增加退隱料ヲ謂ヒ遺族扶助料トハ扶助料及一時扶助料ヲ謂フ

第四條 普通退隱料、增加退隱料及扶助料ハ年金トシ退職給與金及一時扶助料ハ一時金トス

第五條 普通退隱料、增加退隱料及扶助料ノ年額並退職給與金及一時扶助料ノ額ノ圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第六條 普通退隱料、增加退隱料及扶助料ノ給與ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第七條 退隱料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル日ヨリ七年間請求セザルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第八條 普通退隱料又ハ增加退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者退職後一年內ニ縣吏員職員ニ再就職スルトキハ前條ノ期

間ハ再就職ニ係ル職ノ退職ノ日ヨリ進行ス
第九條 時効期間満了前二十日以内ニ於テ天災其ノ他避クヘカ
ラサル事變ヲ爲請求ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ妨碍ノ
止ミタル日ヨリ二十日以内ハ時効完成セス

時効期間満了前六月内ニ於テ前權利者生死若ハ所在不明ノ
爲又ハ未成年者若ハ禁治産者法定代理人ヲ有セサル爲請求
ヲ爲スコト能ハサルトキハ請求ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタ
ル日ヨリ六月内ハ時効完成セス

時効期間満了前ニ適法ニ請求書ヲ發シタルコトノ通信官署
ノ公證アルトキハ時効期間内ニ權限アル官公署ニ到達セサ
ルモ之ヲ時効期間内ニ到達シタルモノト看做ス

- 第十條 普通退隱料、増加退隱料及扶助料ヲ受クルノ權利ヲ
有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ權利消滅ス
- 一 死亡シタルトキ
 - 二 死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セ
ラレタルトキ
 - 三 國籍ヲ失ヒタルトキ

第十一條 退隱料又ハ退職給與金若ハ遺族扶助料ヲ受クルノ
權利ヲ有スル者死亡シタルトキハ其ノ生存中ノ退隱料又ハ
退職給與金若ハ遺族扶助料ニシテ給與ヲ受ケサリシモノハ
之ヲ遺族ニ給シ遺族ナキトキハ死亡者ノ相續人ニ給ス
前項ノ遺族及其ノ順位ハ扶助料ヲ受ケヘキ遺族及其ノ順位
ニ依ル

退隱料又ハ退職給與金若ハ遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有
スル者家族ナリシトキハ第一項ノ相續人ハ其ノ死亡ノ當時
之ト同一戸籍内ニ在リタルコトヲ要ス

第十二條 退隱料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利
ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十三條 縣吏員職員ノ就職トハ任命ヲ謂フ
縣吏員職員ノ退職トハ免職、退職又ハ失職ヲ謂フ但シ本則
ノ定ムル所ニ依リ退隱料、退職給與金ヲ給セサル官職ニ轉
シタルトキハ之ヲ退職ト看做ス

廢職、廢廳若ハ職名改定ノ際其ノ廢職ニ係ル職ニ在ル者即
日又ハ翌日他ノ縣吏員職員ニ就職シタルトキハ之ヲ勤報ト

看做ス

第十四條 縣吏員職員ノ在職年ハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退
職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

退職シタル後再就職シタルトキハ前後ノ在職年月數ハ之ヲ
合算ス但シ退職給與金ノ基礎ト爲ルヘキ在職年ニ付テハ前
ニ退職給與金ノ基礎ト爲リタル在職年ノ年月數ハ之ヲ合算
セス

退職シタル月ニ於テ再就職シタルトキハ再在職ノ在職年ハ
再就職ノ月ノ翌月ヨリ之ヲ起算ス

- 第十五條 左ニ掲クル年月數ハ在職年ヨリ之ヲ除算ス
- 一 普通退隱料又ハ増加退隱料ヲ受クルノ權利消滅シタル
場合ニ於テ其ノ退隱料ノ基礎ト爲リタル在職年
 - 二 第十九條ノ規定ニ依リ退隱料又ハ退職給與金ヲ受クル
ノ資格ヲ失ヒタル在職年

第十六條 縣吏員職員ニ以上ノ職ヲ併有シ各職ニ付俸給(給
料手當ヲ含ム以下同シ)ヲ給セラルル場合ニ於テハ俸給額
ヲ合算シタルモノヲ以テ其ノ者ノ俸給額トシ其ノ重複スル

在職年數ハ之ヲ重複ニ計算セス

第十七條 縣吏員職員所定ノ年數在職シ退職シタルトキハ之
ニ普通退隱料又ハ退職給與金ヲ給ス

第十八條 縣吏員職員公務ノ爲傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不
具廢疾ト爲リ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ之ニ普通
退隱料及増加退隱料ヲ給ス但シ縣吏員職員ニ重大ナル過失
アリタルトキハ之ヲ給セス

公務旅行中流行病ニ罹リタルトキハ公務ノ爲疾病ニ罹リタ
ルモノト看做ス

前項流行病ノ種類ニ付テハ恩給法施行令第二十二條ノ規定
ヲ準用ス

第十九條 縣吏員職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ引
續キタル在職ニ付退隱料又ハ退職給與金ヲ受クルノ資格ヲ
失フ

- 一 懲戒處分ニ因リ退職シタルトキ
 - 二 在職中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 第二十條 縣吏員職員ニシテ退職ノ當時仍他ノ縣吏員職員ト

シテ在職スルモノニ付テハ總テノ縣吏員職員ヲ退職スルニ非サレハ之ニ退職料又ハ退職給與金ヲ給セス

第二十一條 普通退職料ヲ受クル者再就職シ失格原因ナクシテ退職シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ退職料ヲ改定ス

- 一 再就職後在職一年以上ニシテ退職シタルトキ
- 二 再就職後公務ノ爲傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具瘵疾ト爲リ退職シタルトキ

前項ノ規定ニ依リ普通退職料ヲ改定スルニハ前後ノ在職年ヲ合算シ其ノ年額ヲ定メ增加退職料ヲ改定スルニハ前後ノ傷疾又ハ疾病ヲ合シタルモノヲ以テ不具瘵疾ノ程度トシ其ノ年額ヲ定ム

第二十二條 前條ノ規定ニ依リ退職料ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ年額從前ノ退職料年額ヨリ少キトキハ從前ノ退職料ノ年額ヲ以テ改定退職料ノ年額トス

第二十三條 普通退職料ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ間之ヲ停止ス

- 一 縣吏員職員トシテ就職スルトキハ就職ノ月ノ翌月ヨリ退職ノ月迄但シ實在職期間一月未滿ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 二 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ停止セス其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取消ノ月ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル月迄之ヲ停止ス

前項第二號ノ規定ハ增加退職料ニ付テ之ヲ準用ス

第二十四條 縣吏員職員ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ一二相當スル金額ヲ縣ニ納付スヘシ

第二十五條 縣吏員職員在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通退職料ヲ給ス

前項ノ退職料ノ年額ハ在職年十五年以上十六年未滿ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ五十二相當スル金額トシ

第四章 遺族扶助料

第二十八條 本則ニ於テ遺族トハ縣吏員職員ノ祖父、祖母、父、母、夫、妻、子及兄弟姉妹ニシテ縣吏員職員ノ死亡ノ當時同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

縣吏員職員死亡ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ縣吏員職員死亡ノ當時同一戸籍内ニ在リタルモノト看做ス

第二十九條 縣吏員職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ遺族ニハ妻、未成年ノ子、夫、父、母、成年ノ子、祖父、祖母ノ順位ニ依リ之ニ扶助料ヲ給ス

- 一 在職中死亡シ其ノ死亡ヲ退職ト看做ストキハ之ニ普通退職料ヲ給スヘキトキ
- 二 普通退職料ヲ給セラルル者死亡シタルトキ

前項ノ規定ニ依リ同順位ノ子數人アルトキハ縣吏員職員ヲ被相續人トシタル家督相續ノ順位ニ準シ之ヲ定ム

父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス祖父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父

十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス
在職年四十年ヲ超ユル者ニ給スヘキ退職料ノ年額ハ之ヲ在職年四十年トシテ計算ス
第十八條及第二十一條第一項第二號ノ規定ニ依リ在職年十五年未滿ノ者ニ給スヘキ普通退職料ノ年額ハ在職年十五年ノ者ニ給スヘキ普通退職料ノ額トス
第二十六條 增加退職料ノ年額ハ退職當時ノ階等及不具瘵疾ノ程度ニ依リ定メタル別表ノ金額トス
前項ノ不具瘵疾ノ程度ニ付テハ恩給法施行令第二十四條ノ規定ヲ準用ス

第三章 退職給與金

第二十七條 縣吏員職員在職年一年以上十五年未滿ニシテ退職シタルトキハ之ニ退職給與金ヲ給ス

前項ノ退職給與金ノ金額ハ退職當時ノ俸給月額（日給ヲ受額トス以下同シ）ニ相當スル金額ニ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス

母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス
先順位者タルヘキ者後順位者タル者ヨリ後ニ生スルニ至リ
タルトキハ前三項ノ規定ハ當該後順位者失權シタル後ニ限
リ之ヲ適用ス

第三十條 未成年ノ子ハ未タ婚姻セサルトキニ限り之ニ扶助
料ヲ給ス

夫又ハ成年ノ子ハ不具癱疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク
且之ヲ扶養スル者ナキトキニ限り之ニ扶助料ヲ給ス
養子ハ縣吏員職員ノ家督相續人タルトキ又ハ縣吏員職員カ
家督相續人ニシテ之ヲ戸主ト看做ストキハ其ノ死亡ノ時ニ
於テ其ノ家督相續人タルヘキ者ニ限り之ニ扶助料ヲ給ス
前項ノ家督相續人ニハ之ニ準スヘキ者ヲ包含ス

第三十一條 縣吏員職員ノ死亡後遺族左ノ各號ノ一ニ該當ス
ルトキハ扶助料ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一 子婚姻シ又ハ其ノ家ヲ去リタルトキ但シ父ノ屬シタル家
ヨリ分家シ又ハ縣吏員職員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモ
ノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス

アルトキハ停止期間中扶助料ハ之ヲ當該順位者ニ轉給ス

第三十五條 遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ扶助料ヲ受
クルノ權利ヲ失フ

一 其ノ家ヲ去リタルトキ但シ妻夫ノ屬シタル家ヨリ分家
シ又ハ遺族タル子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ
入りタルトキ及子父ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ縣吏
員職員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ
入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 妻、子又ハ夫婦婚姻シタルトキ

第三十六條 扶助料ノ年額ハ左ノ各號ニ依ル

一 縣吏員職員公務ニ因ル傷疾疾病ノ爲死亡シタルトキハ
其ノ普通退隱料年額ノ十分ノ八ニ相當スル金額

第三十七條 縣吏員職員在職年一年以上十五年未滿ニシテ在

二 縣吏員職員女子ナル場合ニ於テ夫婚姻シ又ハ家ヲ去リタ
ルトキ

三 父、母、祖父又ハ祖母其ノ家ヲ去リタルトキ

第三十二條 扶助料ヲ受クル者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑
ニ處セラレタルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ刑ノ執行ヲ終
リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄扶助料ヲ
停止ス但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ扶助料ハ
之ヲ停止セス其ノ言渡ヲ取消シタルトキハ取消ノ月ノ翌
月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタ
ル月迄之ヲ停止ス

前項ノ規定ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行中又ハ其ノ
執行前ニ在ル者ニ扶助料ヲ給スヘキ事由發生シタル場合ニ
付之ヲ適用ス

第三十三條 扶助料ヲ給セラルヘキ者一年以上所在不明ナル
トキハ次順位者ノ申請ニ依リ知事ハ所在不明中扶助料ヲ停
止ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 前二條ノ扶助料停止ノ事由アル場合ニ次順位者

職中死亡シタル場合ニハ其ノ遺族ニ一時扶助料ヲ給ス

前項ノ一時扶助料ノ金額ハ縣吏員職員ノ死亡ノ當時ニ於ケ
ル俸給月額ニ相當スル金額ニ其ノ縣吏員職員ノ在職年ノ年
數ヲ乘シタル金額トス

第三十八條 縣吏員職員第二十九條第一項各號ノ一ニ該當シ
兄弟姉妹以外ニ扶助料ヲ受クル者ナキトキハ其ノ兄弟姉妹
未成年又ハ不具癱疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ
扶養スル者ナキ場合ニ限り之ニ一時扶助料ヲ給ス

前項ノ一時扶助料ノ金額ハ扶助料年額ノ一分ニ相當スル
金額ヲ兄弟姉妹ノ人員ニ乘シタル金額トス但シ兄弟姉妹ノ
人員三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スル人員ニ對シテハ扶
助料年額ノ二分ノ一ニ相當スル金額ヲ乘シタル金額トス

附則

第三十九條 本則ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十條 明治三十四年一月三重縣告示第二十九號縣吏員退
隱料退職給與金遺族扶助料及支給方法明治四十年一月三重
縣告示第二號縣ノ給料給與ヲ受クル吏員職員退隱料退職給

與金遺族扶助料支給規程ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第四十一條 本則施行前給與事由ノ生シタル退職料退職給與金及遺族扶助料ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第四十二條 本則施行ノ際現ニ縣吏員職員ノ職ニ在ル者ニ付テハ其ノ在職ニ繼續スル在職ニ限リ本則施行前ノ在職年ト雖之ヲ本則ニ定ムル在職年ト看做ス但シ第八十三條ノ規定ニ依リ退職ト看做サレタル在職年ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條 本則施行ノ際現ニ恩給法ノ適用ヲ受ケル待遇職員ノ職ニ在ル者及其ノ職ト縣吏員職員ノ職ト併有スル者ハ

大正十二年九月三十日ニ於テ退職シタルモノト看做シ從前ノ規定ニ依リ在職年ヲ計算シテ支給率ヲ定メ其ノ在職年數ヨリ恩給法ノ適用ヲ受ケヘキ待遇職員ノ在職年數ヲ控除シタル年數ニ付從前ノ退職料又ハ退職給與金ヲ給ス

前項ノ退職料又ハ退職給與金ハ待遇職員退職シ又ハ他ノ官職ニ轉シ若ハ本縣外ニ轉シタルトキ之ヲ給シ死亡シタル場合ハ其ノ遺族ニ給シ遺族ナキトキハ死亡者ノ相續人ニ給ス

第四十四條 本則施行ニ關シ必要ナル事項ハ細則ヲ以テ知事之ヲ定ム

別表

特別項	第一項	第二項	第三項	第四項	第五項	第六項
症狀等差	九六〇	八〇〇	六四〇	四六一	三六〇	二八八
階等	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	貳百圓ヲ超ユル者	貳百參拾五圓以下ノ者	貳百參拾五圓未滿ノ者	貳百參拾五圓未滿ノ者	貳百參拾五圓未滿ノ者	貳百參拾五圓未滿ノ者
	圓	圓	圓	圓	圓	圓
	九六〇	八〇〇	六四〇	四六一	三六〇	二八八
	八六四	七二〇	五七六	四二二	三三〇	二六四
	七九二	六六〇	五二八	三七三	三〇〇	二四〇
	七二〇	六〇〇	四八〇	三八四	三〇〇	二四〇

備考 特別項ハ第一項ノ金額ニ其ノ十分ノ五以内ヲ加ヘタルモノトス

第四項	第五項	第六項
五一二	四〇〇	三二〇
四六一	三六〇	二八八
四二二	三三〇	二六四
三八四	三〇〇	二四〇

● 縣吏員職員退職料退職給與金遺族扶助料支給細則

(大正十二年十月十六日 縣令第四十四號)

縣吏員職員退職料、退職給與金、遺族扶助料支給細則左ノ通定ム

縣吏員職員退職料、退職給與金、遺族扶助料支給細則

第一章 總則

第一條 縣吏員職員退職料、退職給與金、遺族扶助料支給規則(以下單ニ支給規則ト稱ス)

第一條ノ規定ニ依リ縣吏員、職員トハ左ニ掲ケル者ヲ謂

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退職料、扶助料

ノ

- 一、縣主事、地方改良主事、社會教育主事、社會教育主事補、穀物検査所長、縣書記穀物検査所書記、耕地整理書記、病院書記、統計吏員、慈善救濟員、縣稅検査員
- 二、土木工師、蠶業技師、林業技師、耕地整理技師、警察技師、蠶業取締吏員、蠶種検査吏員、米穀検査員、砵器検査員、砂防監理員、河川管理員、檢疫醫、検査員、武術教師、技業教師、土木工手、林業技手、林業手、耕地整理技手、警察技手、船長、機關士、運轉士、土木工事用艇長、自動車運轉手

第二條 支給規則ニ依リ退職料、退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ受ケムトスル者ハ請求書ヲ居住地ノ町村長若ハ郡市長ヲ

經テ知事ニ差出スヘシ但シ本縣外ニ居住スル者ハ直接知事ニ差出スヘシ

第三條 年金タル退隱料及遺族扶助料又ハ一時金タル退職給與金及遺族扶助料ヲ支給テ受ケムトスル者ハ支拂請求書(第一號様式)ヲ直接又ハ居住地ノ市町村長ヲ經テ知事ニ差出スヘシ

第四條 支給規則第十一條ノ規定ニ依リ退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ受ケヘキ遺族又ハ相續人ハ自己ノ名ヲ以テ請求又ハ支拂請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ相續人數人アルトキハ其ノ中ノ一人ヲ總代者トシテ請求スヘシ

第二章 退隱料、退職給與金、遺族扶助料

ノ請求

第五條 普通退隱料又ハ増加退隱料ヲ受ケムトスル者ハ普通退隱料請求書(第二號様式)又ハ増加退隱料請求書(第三號様式)ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一、在職中ノ履歷書

二、戶籍抄本(之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ)(退職後請求迄ノ間ニ於テ作成セラレタルモノ)

増加退隱料請求書ニハ前項各號ニ掲ケル書類ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一、傷疾、疾病カ公務ニ起因シタルコトヲ認ムルニ足ルヘキ書類(例ヘハ現認者ノ現認證明書、所屬長ノ事實證明書等)

二、症狀ノ經過ヲ記載シタル書類

三、請求當時ニ於ケル診斷書

退隱料ヲ改定スル場合ニ退隱料證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前二項各號ニ掲ケル書類ノ外其ノ退隱料證書ヲ添附スヘシ

第六條 退職給與金ヲ受ケムトスル者ハ退職給與金請求書(第四號様式)ニ在職中ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第七條 支給規則第二十九條第一項第一號ノ規定ニ依リ第一次ニ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書(第五號様式)ニ左ノ書類ヲ添附ス

前條第二項ノ規定ハ前項第二號ニ掲ケル書類ヲ添附スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 前二條ノ場合ニ於テ縣吏員、職員ノ死亡カ公務ニ因

ル傷疾、疾病ニ起因スルトキハ前二條ノ規定ニ依ルノ外扶

助料請求書ニ第五條第二項第一號及第二號ニ掲ケル書類並

死亡者ノ死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添附スヘシ

前項ノ死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添附スルコトヲ得サル

場合ニ於テハ死亡ノ事實ヲ證スル公ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十條 支給規則第二十九條第一項各號ノ規定ニ依リ第二次

以下ニ於テ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求

スル場合ニ於テハ扶助料請求書ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一、前扶助料權者カ扶助料ヲ受ケタルノ權利ヲ失ヒタルコト

ヲ證スル書類

二、前扶助料權者ノ扶助料證書

三、請求者ノ戶籍抄本(縣吏員、職員死亡ノ時以後ノ請求

者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テ前扶助料權者カ未タ扶助料ノ裁定ヲ經サ

ヘシ

一、縣吏員、職員ノ在職中ノ履歷書

二、請求者ノ戶籍抄本(之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ)

(縣吏員、職員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明

瞭ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テ縣吏員、職員前ニ退隱料證書ヲ受ケタル

コトアルトキハ前項各號ニ掲ケル書類ノ外其ノ退隱料證書

ヲ添附スヘシ

第八條 支給規則第二十九條第一項第二號ノ規定ニ依リ第一

次ニ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場

合ニ於テハ扶助料請求書(第五號様式)ニ左ノ書類ヲ添附ス

ヘシ

一、縣吏員、職員カ既ニ普通退隱料ノ裁定ヲ經タルトキハ

其ノ退隱料證書及請求者ノ戶籍抄本(縣吏員、職員死

亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

二、縣吏員、職員カ未タ普通退隱料ノ裁定ヲ經サルトキハ

前條第一項各號ニ掲ケル書類

ルトキハ前項第一號ニ掲クル書類及前扶助料權者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ添附スルコトヲ要スル書類ヲ添附スヘシ

第十一條 支給規則第三十條第二項ニ規定スル扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ第七條乃至前條ノ規定ニ依ルノ外扶助料請求書ニ不具癩疾ヲ證スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且ツ扶養スル者ナキコトヲ證スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十二條 支給規則第三十三條ノ規定ニ依リ扶助料ノ停止ヲ申請スル者ハ扶助料停止申請書(第六號様式)ニ左ノ書類ヲ添附シ直接又ハ居住地ノ市町村長ヲ經テ知事ニ差出スヘシ
一、扶助料權者カ所在不明ナルコトヲ證明スル公ノ證明書
二、請求書ノ戶籍謄本(縣吏員、職員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ支給規則第三十四條ノ規定ニ依ル扶助料轉給ノ請求ヲ爲スヘシ

第十三條 支給規則第三十四條ノ規定ニ依リ扶助料ノ轉給ヲ

其ノ退隱料證書及請求者ノ戶籍謄本(縣吏員、職員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

二、縣吏員、職員カ未タ普通退隱料ノ裁定ヲ經サルトキハ縣吏員、職員ノ在職中ノ履歷書及請求者ノ戶籍謄本(縣吏員、職員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

第十六條 一時扶助料ヲ給セラルル者數人アルトキハ其ノ中ノ一人ヲ總代者トシテ一時扶助料ノ請求又ハ支拂請求ヲ爲スヘシ

第十七條 第四條ノ規定ニ依リ退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ請求スル者ハ請求書ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ
一、死亡シタル退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料權者カ退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ請求ストセハ添附スルコトヲ要スヘキ書類
二、請求者ノ戶籍謄本(死亡シタル退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料權者ノ死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

請求スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル扶助料轉給請求書(第七號様式)ニ請求者ノ戶籍謄本(縣吏員、職員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)ヲ添附スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リ請求者ノ戶籍謄本ヲ添附シタル場合ニ於テハ其ノ添附ヲ要セス

第十四條 支給規則第三十七條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ一時扶助料請求書(第八號様式)ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ
一、縣吏員、職員ノ在職中ノ履歷書
二、請求者ノ戶籍謄本(縣吏員、職員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

第十五條 支給規則第三十八條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ一時扶助料請求書(第八號様式)ニ不具癩疾ヲ證スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且ツ扶養スル者ナキコトヲ證スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ
一、縣吏員、職員カ既ニ普通退隱料ノ裁定ヲ經タルトキハ

第十八條 前各條ノ規定ニ依リ退隱料證書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ死亡失其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ添附スルコトヲ得サルトキハ證據書類ヲ添(其ノ事由ヲ知事ニ届出ツヘシ)

第十九條 郡市町村長ニ於テ退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料請求書類ヲ受付タルトキハ之ヲ調査シ不備ノ點アルコトヲ認メタルトキハ其ノ不備ヲ追完セシメ速ニ知事ニ送付スヘシ

第二十條 年金タル退隱料及遺族扶助料ニ付テハ退隱料又ハ遺族扶助料證書ヲ一時金タル退職給與金及遺族扶助料ニ付テハ裁定通知書ヲ請求者居住地ノ市町村長ヲ經テ之ヲ交付ス但シ第四條ノ規定ニ依ル請求ニ對シテハ裁定通知書ヲ交付ス

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ證書又ハ裁定通知書ノ交付ヲ受ケタル者ハ受領書及印鑑ヲ提出スヘシ
前項ノ印鑑ハ仕拂請求書及現金領收證ニ押捺スヘキモノト同一ナル印章タルコトヲ要ス

第二十二條 退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料ノ審査上必